

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第五條 死亡人ノ遺財前條ノ費用ニ充テ餘贏アルキハ之ヲ本籍へ
送付スヘシ其本籍氏名詳ナラサルモノハ之ヲ五ヶ年間戸長役場
ニ保管シ仍ホ本籍氏名詳ナラサルニ於テハ地方稅雜收入ニ組入
ルヘシ

右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ
全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ更ニ本會ヲ以テ確定決議會
トスルニ同意者ハ起立スヘシ
全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ茲ニ本案ヲ確定シ決議ノ次第ハ例ニ從
ヒ上奏セン散會スヘシ

午前第十一時二十三分閉場

元老院會議筆記明治十五年七月二十二日

○第三百二十一號議案脫籍無產之輩復籍遞送規則布告等廢止ノ儀第一讀會第三百二十號議案

第一讀會
後開會

議長佐野常民

出席議員

- | | |
|-----|-------|
| 三番 | 柴原和 |
| 五番 | 鍋島幹 |
| 七番 | 海江田信義 |
| 十一番 | 津田出 |
| 十二番 | 大久保一翁 |
| 十三番 | 本田親雄 |

- 十四番 渡邊 清
- 十五番 伊丹 重賢
- 十七番 楠本 正隆
- 十八番 東久世通禧
- 二十番 三浦 安
- 廿四番 黒田 清綱
- 廿七番 伊集院兼寛
- 廿九番 關口 隆吉
- 卅三番 林 友幸
- 卅四番 長岡 護美
- 卅六番 津田 眞道

内閣委員番外 参事院議官補村上 義雄

○議長 第二百二十一號議案ノ第一讀會ヲ開ク書記官朗讀ノ後例ニ
遵ヒ發議スヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

辛未四月廿三日布告脱籍無産ノ輩復籍遞送規則同六月十七日布告
行旅病人取扱規則同十二月廿六日脱籍無産ノ徒復籍方布告并ニ十
年第九十五號達十一年第四十七號達同第五十五號達等悉ク之ヲ廢
止ス

右奉 勅旨布告候事

○番二番 村上 義雄 本案ノ要領ハ既ニ第三百二十號議案ニ連帶シテ陳述

セシニ依リ更ニ贅辨ヲ要セサレトモ曾テ質問會ニ於テ布告ト布達トヲ併テ廢止スルニ一布告案ヲ以テスルハ不體裁ナリトノ論旨アリシニヨリ今之ニ對シテ一辯セント欲ス蓋シ布告ト布達トハ其權限効力自カラ輕重アルハ辨ヲ須タサレトモ其公布式ヲ定メラレシハ明治六年ニ在リテ其以前ハ布告ノ文字ナキモ猶布告ノ精神ナリシモノアリ尋テ去年十月更ニ布告式ヲ改メ近時ニ至テハ其區別素リ確然タリ然ルニ本家中ニ列擧スル達ハ乃チ六年以前ノ者アリ若シ之ヲシテ近年ニ在ラシメハ必ス布告タルニ相違ナカルヘシ又布告ト布達ト廢止ヲ一布告ヲ以テ公布セシノ例ハ十二年第四十六號布告徵兵令ニアリ其文ニ曰ク「但徵兵令ニ關スル從前ノ布告達及指令ハ渾テ廢止トスト是ニ由テ之ヲ見レハ從來其例ナキニアラサレ

ハ必スシモ布告ト布達トヲ分割シテ兩案トナスヲ要セサルナリ

○十四番 渡邊清

本案ノ大體ヲ賛成ス既ニ第三百二十號議案ナル行旅死亡人取扱規則アル以上ハ行旅病人取扱規則ヲ要セス議者或ハ行旅死亡人取扱規則アリテ行旅病人取扱規則ナキハ偏輕偏重ナリト論スレトモ是決シテ然ラス蓋シ行旅病人ハ警察官ノ辨理スル所ナリ況ヤ第三百二十號議案ヲ修正シテ行旅病人取扱ノ事ヲ含蓄セシムルノ途アルヲヤ

○五番 鍋島幹

內閣委員ニ質ス本案列記ノ外猶之ニ類似スルノ布達アルヲ覺フ然ルニ是等モ皆末文ノ等字ヲ以テ統轄シ即チ原則ヲ廢止スレハ附從ノ分ハ自然ニ消滅スト云フノ意ニアル乎若シ然ラストスレハ明治七年內務省布達甲第廿四號ニ「自今府縣遞送人途中逃亡

又ハ病死等致候者其他行旅病人倒死人變死人等ノ諸入費總テ有籍者ハ其家元ヨリ償却爲致無籍者ハ官費ニ可相立此旨布達候事但云々トアルヲ掲ケサルハ何ソヤ

○番二番村上義雄 是ニ類似スルノ布達類ハ許多ナルヘキモ此布告一發スレハ悉ク消滅ニ歸スルノ考案ナリ若シ又此布告ニ漏ル、者アラハ内務卿更ニ達書ヲ出スヘシ要スルニ此一布告ヲ以テ悉皆網羅スルノ考案ナリ

○議長 發議ナキヲ以テ茲ニ第一讀會ヲ了ル散會スヘシ
午後零時五分閉場

元老院會議筆記明治十五年九月六日

○第三百二十一號議案 脱籍無籍之輩復籍遞送規則布告等廢止ノ儀 第二及第三讀會第三

百四十八號議案
檢視ノ後開會
議長 佐野常民

出席議員

- 一番 神田 孝平
- 三番 長岡 護美
- 四番 岩下 方平
- 五番 鍋島 直大
- 六番 林 友幸
- 七番 稅所 篤

- 八番 伊集院兼寛
- 九番 渡邊 洪基
- 十番 柴原 和
- 十一番 津田 眞道
- 十二番 四條 隆訶
- 十三番 鍋島 直彬
- 十四番 河瀬 眞孝
- 十五番 伊丹 重賢
- 十六番 大久保一翁
- 十九番 楠本 正隆
- 廿一番 箕作 麟祥

- 廿二番 榎村 正直
- 廿八番 西 周
- 三十番 野村 素介
- 卅二番 河田 景與
- 卅三番 大給 恒
- 卅四番 三浦 安
- 卅五番 本田 親雄
- 卅六番 東久世通禧

○議長 第三百二十一號議案ノ第二讀會ヲ開ク
 内閣委員^{番外} 参事院議官補村上 義雄

書記官^{森山} 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

辛未四月廿三日布告脱籍無産ノ輩復籍遞送規則同六月十七日布告
行旅病人取扱規則同十二月廿六日脱籍無産ノ徒復籍方布告并二十
年第九十五號達十一年第四十七號達同第五十五號達等悉ク之ヲ廢
止ス

右奉 勅旨布告候事

○二十一番^{辨議作} 本案ヲ制定サル、ノ理由ハ第一讀會ニ於テ粗内閣
委員ノ辨明ヲ得タレトモ猶明晰ナラサル者アリ加フルニ本日ハ前
會ニ欠席セル議官モアルニ由リ旁々今第二讀會ナルモ明晰ナル理
由ヲ聞カント欲ス惟フニ第三百二十號議案ヲ以テ詳細ニ行旅死亡
人取扱規則五箇條ヲ制定シ而シテ行旅病人取扱規則ハ之ヲ不問ニ

付スルノミナラス現行スル者アルニ關ハラス皆實際ニ適セストシ
テ一掃シ去ルハ何ソヤ若シ實際ニ適セスンハ改正スル素ヨリ其所
ナルヘキニ全然其跡ヲ絶チ他ニ取扱ノ憑據スヘキ規則ナシ果シテ
實際ニ支障ナキヲ保任シテ然ルヤ敢テ明辯ヲ乞フ

○番二番^{村上}

幸ニ二十一番ノ質問ヲ得タルヲ以テ答辯セン第一讀

會ニ於テモ二十一番ノ問ニ答ヘテ行旅病人ノ事ハ行政警察ノ事務
ナリ當時行政警察ナカリシカ爲メニ現行規則アリシナリト辨セリ
蓋シ此辨解ハ大簡ニ失スルヨリシテ更ニ今日ノ質問ヲ招キシナラ
ン抑明治八年第二十九號ヲ以テ行政警察規則ヲ發表セリ其第一條
ニ曰ク「行政警察ノ趣意タル人民ノ凶害ヲ豫防シ安寧ヲ保全スルニ
アリ」トアリ此第一條ハ直接ニ今廢止セントスル所ノ行旅病人取扱

規則第一項ノ明細ナルカ如キニアラサレトモ其意味ハ自然ニ之ヲ含蓄セリ徒ニ然ルノミナラス第二條ニ「各府東京ヲ除ク縣長官其事務ヲ提掌シ大屬以下ヲ分テ警察掛トシ之ヲ專掌セシメ便宜各所へ出張シ邏卒ヲシテ各部ニ分派シ巡邏查察セシム」又第三條ニ「人民ノ妨害ヲ防護スル事健康ヲ看護スル事云々」トアリ是ニ由ルモ行旅病人取扱規則ヲ廢止シテ更ニ不可アルコトナキナリ又行旅病人取扱規則ハ茫漠ニシテ即チ第一項ニ「旅人并旅稼ノ者病氣等ニテ進退難相成候ハ、所役人申談其所ニ止宿セシメ醫療手當云々」トアルモ此所役人ナルモノ今日ニ在テハ戸長ヲ指ス乎果シテ何ノ資格アル人ヲ指ス乎ヲ知ラス行政警察規則第二條ハ恰モ此行旅病人取扱規則ノ第一項ニ當ルナリ又之ニ照ラスニ戸長職務アルアリ加之ノミ

ナラス警視廳ニ於テハ邏卒勤方ノ法アリテ現行大ニ周密ナレハ行旅病人取扱規則ヲ廢止スルモ敢テ支障アルコトナシ

○十番柴原和 内閣委員ノ辨明ヲ聽キ本案ノ大體ヲ賛成スレトモ亦聊

修正ノ意見アリ抑モ明治初年ニハ布告布達ニ號數ナキヲ以テ今之ヲ加フヘカラサルハ勿論ナリト雖モ其冒頭ニ支干ヲ掲クルハ搜索ニ不便ナルヲ以テ「辛未」ヲ改メテ「明治四年」ニ作ラント欲ス是徒ニ搜索ニ便スルノミナラス下文ニモ十年等ノ字アリ宜シク之ヲ一體ニスヘキナリ

○三十六番東久世通禎 賛成

○議長 十番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○二十一番箕作麟祥 行旅病人取扱規則ヲ廢スルモ行政警察規則アルニ

○由テ實際ニ支障ナシトノ説明ヲ得テ甚タ安心セリ今十番ノ修正アリ本官モ亦之ヲ賛成ス然ルニ本官ハ別ニ十番ニ均シキ修正ノ意見アリ大概近來ノ布告文ヲ見ルニ同年ナレハ同ト書カスシテ年月ヲ明示セルニ由リ本案明了ナラサルニハアラサレトモ彼此体裁ヲ一ニセンカ爲メ明治四年云々同年六月云々同年十二月云々十年十二月云々十一月云々同年十二月云々ト修正セント欲ス故ニ豫メ之ヲ陳ス

○議長 十番ノ修正説ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者二十一人

○議長 多數ナルヲ以テ十番ノ修正説ニ決ス
○二十一番箕作麟祥 即チ前陳ノ修正説ヲ提出ス

○議長 二十一番ニ告ク本案ノ修正説ハ既ニ可決セリ然ルモ猶ホ更ニ修正説ヲ提出セント欲スル乎

○二十一番箕作麟祥 十番ノ修正説可決セシモ豫陳ノ如ク本官ノ修正説ヲ提出スルノ機會ナリト信スルナリ

○議長 十番ノ修正説可決セシ以上ハ本案ハ既ニ第二讀會ヲ了セリ向ニ二十一番ノ説アリシハ各位ノ聞ク所ナレハ各位若シ二十一番ノ説ヲ十番ノ説ニ勝レリトセハ取決ニ際シテ起立セサリシナルヘキモ然ラスシテ十番ノ説ニ可決セシ上ハ一案一決ノ例ニ由ラサルヘカラス故ニ第三讀會ニ至ラサレハ之ヲ提出スルコト能ハサルナリ然レトモ各位中或ハ二十一番ト同感ノ人アルヲ知ルヘカラサルニ由リ例規外ト雖モ二十一番ノ説ヲ提出スルコトヲ許容スヘキヤ

否ヲ衆議ニ決セントス即チ明治四年四月二十三日布告脱籍無産ノ輩復籍遞送規則マテヲ既ニ可決シタル者トシ以下ヲ未決ノ者トスルニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十二人

○議長 少數ナルヲ以テ二十一番ハ修正説ヲ提出スルヲ得ストス

○三十五番 本田親雄 起立ハ少數ナリシヤ

○議長 然リ

○三十五番 本田親雄 一問題未決前ニ方テ修正説アルコトヲ豫陳スルト

キハ現問題ノ可否決ニ拘ハラズ更ニ提出スルヲ得ルノ慣例ハ尠少ナラスト信ス是レ本官等二十一番ノ修正説ヲ可トセシモ猶ホ十番ノ修正説ニ起立セシ所以ナリ今ヤ衆議ノ決スル所ニシテ二十一番

ハ修正説ヲ出ス能ハサルノ時機ニ際セシヲ以テ復如何トモスルヲ得サレトモ慣例ハ則チ本官前陳スル所ニ外ナラサルナリ

○議長 二十一番若シ一文章ヲ兩分シテ決議ニ付スルノ建議ヲナシ之ニ可決セハ問題ノ可否決ニ拘ハラズ修正説ヲ提出スルコトヲ得ルハ例規ナリト雖モ一問題可決シタルニ更ニ同文章ニ續々修正説ヲ提出スルハ讀會規則ノ許サ、ル所ナリ

○二十一番 箕作麟祥 其月日ハ之ヲ記憶セサレトモ本年ニ於テ議長ヨリ現況ニ際シテハ豫陳ノ有無ニ關セス修正説ヲ提出スルヲ得ルトノ廻文ヲ發セラレシヲ信ス知ラス該書ハ否決ノ時ノミ更ニ修正説ヲ提出スルヲ得ルト云フニアリシ乎然リト雖モ本官ノ意見ハ今既ニ少數ヲ以テ消滅セシニ由リ敢テ強辯スルニハアラサルナリ

○十番柴原和

本官ハ二十一番ノ修正意見ヲ賛成スル者ナレトモ議長

ノ宣告ニ對シテ起立セサリシハ其議事規則ニ背戾スルヲ以テノ故
ナリ惟フニ三十五番二十一番ハ誤解ナルヘシ一問題消滅セハ豫陳
ノ修正說ヲ提出スルコトヲ得ルハ勿論ナレトモ可決スルトキハ豫
陳ノ有無ニ關ハラズ更ニ修正說ヲ提出スルヲ得サルハ規則ノ定ム
ル所タリ向ニ議長發セシ所ノ廻文ノ意モ之ニ外ナラサルナリ

○議長 向ニ各位ニ移セシ文ハ「第二讀會及第三讀會ニ方リ原案ニ對
スル修正說問題トナラスシテ消滅シ若クハ問題トナリテ否決消滅
スルトキハ前問題決議前其豫陳セシト否トニ拘ハラズ更ニ修正說
ヲ提出スルコトヲ得若シ前ノ問題ニ可決スルトキハ之ヲ提出スル
ヲ得ストアリ是レ可決セシ者ニ對シテ續々修正說ヲ提出スルトキ

ハ確決ノ期ナキニ至ルヲ以テナリ三十五番二十一番ハ或ハ誤解ス
ルニアラサラン乎今誤解如何ハ姑ク之ヲ措クモ既ニ少數ニテ消滅
セシ以上ハ第三讀會ヲ待テ提出スル可ナランノミ

○三十五番本田親雄

否決ノ時ハ議長述フル所ノ如シト雖モ一文章中ニ

於テ一議官前段ヲ修正シテ他議官後段ヲ修正セント欲スルトキハ
豫陳セハ之ヲ提出セシムルモ毫モ議事ノ整頓ニ支障ナカルヘシ然
ルヲ説明ノ如ク豫陳スルモ能ハスト云ハ、窮屈ナルニアラスヤ今
日ハ猶第三讀會アルヲ以テ強辯セサレトモ他日更ニ述フル所アル
ヘシ

○議長 第二讀會ハ逐條議ニシテ即チ書記官朗讀セシ部分ヲ一問題
トナシ此ニ對シテ修正說アリテ可決スルトキハ既ニ議事ヲ經過ス

ルヲ規則トス故ニ一修正アリテ其修正ノ前段ニ同意シテ後段ニ不同意ノ事アラハ分段或ハ起立ニ由テ之カ取捨ヲ定ムルハ各位ニアルナリ決シテ窮屈ナル例規ニアラス

○外番二番義雄村上 第二讀會了ラハ請フ所アラント欲ス即チ向ニ議定上

奏サレタル行旅死亡人取扱規則ト本案ト同時ニ公布セサルヘカラサル者ナルニ本案ノ議定上奏ナキカ爲メニ該規則ヲ公布スルコト能ハサルノ實アリ因テ請フ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ

○議長 本案ハ内閣委員ノ請求アルノミナラス内務省ヨリモ休暇前ニ議定上奏ヲ望ミシコトアリ且簡單ナル法案ナルニヨリ直ニ第三讀會ヲ開クニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十四人

○議長 多數ナルヲ以テ直ニ第三讀會ヲ開クニ決ス

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治四年四月二十三日布告脱籍無産ノ輩復籍遞送規則同六月十七日布告行旅病人取扱規則同十二月二十六日脱籍無産ノ徒復籍方布告并ニ十年第九十五號達十一年第四十七號達同第五十五號達等悉ク之ヲ廢止ス

右奉 勅旨布告候事

○二十一番 築作 麟祥 前會ハ甚々混雜ヲ惹起セリ即チ今改メテ修正ヲ提

出ス勿論字句ノ修正ニシテ只他ノ法律ト文体ヲ一ニセントスルニ外ナラサレハ敢テ論辨ヲ要セサルモ其修正文ハ「布告案、明治四年四

月二十三日布告脱籍無産ノ輩復籍遞送規則同年六月十七日布告行旅病人取扱規則同年十二月二十六日脱籍無産ノ徒復籍方布告并ニ十年十二月第九十五號達十一年十一月第四十七號達同年十二月第五十五號達等悉ク之ヲ廢止ス、右奉勅旨布告候事ト此ノ如キノミ

○十三番 鍋島直彬 賛成

○三十三番 大給恒 本官ハ二十一番ノ修正ヲ賛成スレトモ更ニ二十一番ニ望ム者アリ蓋シ第三讀會ハ五名ノ賛成ヲ得サレハ問題タルコト能ハストス今二十一番ハ未タ此賛成ヲ得サルノ際ナレハ本官ト

二十一番トノ間ニ字句ノ協議ヲ用フルモ肯テ不可ナカルヘシ其協議セントスルモノハ願クハ等ノ一字ヲモ併セ削ランコトヲ欲スルナリ是レ「等」字アレハ此他猶廢スヘキ者アルノ嫌アルアリテ畢竟

不要ノ文字ナレハナリ二十一番之ヲ領セハ自説トシテ提出センコト

ヲ望ム若シ夫レ之ヲ領セサルモ本官ハ猶二十一番ヲ賛成スルナリ

○二十一番 箕作麟祥 三十三番ノ忠告ニヨリ即チ前説ニ加フルニ「等」ノ

一字ヲ除キ更ニ進テ「悉ク」ノ二字ヲモ削ラント欲ス

○十三番 鍋島直彬 更ニ賛成ス

○三十三番 大給恒 賛成

○六番 林友幸 賛成

○三番 長岡護美 賛成

○十一番 津田眞道 賛成

○三十六番 東久世通禧 賛成

○議長 二十一番ニ間フ修正ノ末文ハ「第五十五號達ハ之ヲ廢止ス」

ト云フニアル乎

○二十一番 箕作麟祥 然リ

○議長 二十一番ノ修正説ハ成數以上ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○九番 渡邊洪基 本官ハ二十一番ノ前説ヲ賛成セント欲シタレトモ後説

ハ之ヲ賛成スルコト能ハス蓋シ本案中列擧スル所ノ法令規則ハ頗ル錯雜シタル者ナルヲ以テ或ハ遺漏アルヲ恐ル、ヨリ意味曖昧タル「等」字ナレトモ寧ロ之ヲ存シテ以上掲クル所ノ法令規則ニ等シキ者ハ悉ク之ヲ廢止スト云フニアルナリ乃チ「悉ク」ハ「等」字ヲ承テテ然ルナリ故ニ末文ハ原案ナラサルヘカラス

○三十三番 大給恒 議長ニ問フ前回ハ單ニ賛成ヲ表シタルノミナレハ

今猶ホ一辯スルモ妨ケナキヤ

○議長 更ニ妨ケアルコトナシ

○三十三番 大給恒 反對論者ノ説ハ過慮ニ外ナラス即チ其説ニ從ヘハ

内閣ハ之ヲ廢止セントスルニ方リテ調査ニ遺漏アルニハアラサル乎元老院モ亦不注意ニシテ遺漏ヲ補フ能ハサルニハアラサル乎顧慮シテ豫防ノ爲メニ「等」字ヲ要セシニ似タリ豈暗中物ヲ捜スカ如キ手段ヲ要センヤ若シ遺漏アラハ其發見ニ際シテ更ニ之ヲ布告セハ可ナリ

○三十四番 三浦安 單ニ「辛未」トアリテハ幾紀ノ辛未ナルヲ知ラサル

ニヨリ「明治四年」ト修正セシハ尤モ其當ヲ得タリトス現問題モ亦年月ヲ挿入スルハ敢テ大ナル不可アルニハアラサレトモ原案ノ体

裁ハ現行布告中ニ其類多シ又「等悉ク」ヲ削リテ「達ハ」トスルニ至テハ最モ不可ナリ即チ「達ハ」ト云ヘハ他ハ之ヲ存スルトノ看ヲナスヘシ是レ詳密ニ失シテ却テ疑惑ヲ招クナリ且原案大ニ明了ヲ欠クニアラサル上ハ強テ説ヲ爲シ修正ヲ加フルヲ要セサルナリ

○二十一辨作辨詳

反對論者ハ年月ヲ添加スルハ必スシモ不可ナキモ進ンテ「等悉ク」ヲ削リテ「達ハ」トスルハ詳密ニ失シテ疑惑ノ媒介ヲ爲ス者ナリト論セリ本官ハ之ニ反シテ原案ノ「等」字アルハ即チ詳密ニ失シテ疑惑ノ媒介ヲ爲ス者ナリトス何トナレハ「等」字ハ其意味曖昧ニ屬シテ即チ以上列記ノ外猶廢止スヘキ者アルヲ顧慮シテ豫防ノ爲メニ之ヲ網羅セント欲スルニアレハナリ若シ遺漏アルヲ發見セハ爾時更ニ之ヲ布告スヘキノミ故ニ「悉ク」ハ姑ク措テ之ヲ

論セサルモ「等」字ニ至テハ終ニ疑惑ノ媒介ヲ爲ス者ナリ蓋シ原案ノ「等」字ヲ用ヒシハ複稱ヲ徵スルニアルヘキモ亦反對論者ノ如キ解釋ヲ下ス者アルヘキヲ保セサルニヨリ本官ノ修正アル所以ナリ

○外番村上義雄

布告文ハ体裁ノ整齊ヲ望ムニヨリ彼此ヨリ善ナラハ可ナリ本案冒頭ニ「辛未」ノ字ヲ削リテ明治四年ト爲スカ如キハ則チ原案ニ勝レリトス現問題モ亦原案ニ比シテ一層善良ナリトセハ不可ナキモ「等」字ハ敢テ曖昧ナリト抹殺スルヲ得ス數件ヲ列記スルニ方リテハ文勢必ス此ニ至ルハ自然ノ事ナリ決シテ「等」字人ヲ惑ハシムルナキナリ又「達ハ」トスレハ彼ノ行旅死亡人取扱規則ハ之ヲ制シ本文列記ノ規則法令ハ之ヲ廢止スト云フニ似テ彼此照應スルカ如キモ素ト是レ別布告ナル以上ハ必ス照應スルヲ要セサル

ヘシ願クハ原案ニ決センコトヲ望ム

○十番柴原和年月ヲ添加スルニハ同意ナレトモ「等悉ク」ヲ削ルハ不同意ナリ而シテ本官ハ番外二番ニ疑アリ即チ本文列記ノ外ニ明治四年五月二十八日ニ「華士族脱籍逃亡云々」ノ公布アリ同六年五月二十四日ニ「脱籍人復籍セサル者アレハ律ニ照シ云々」ノ公布アリ其他猶此類アリト雖モ本案ハ此大綱ヲ擧ケテ他ノ節目ヲ一括スルノ意味ヲ以テ「等」字ヲ要セシナリ然ルヲ番外二番ノ辯ノ如クスルトキハ反テ修正説ヲ可トスル者ナリ本官ハ現問題消滅セハ「等悉ク」ハ原案ニヨリ年月ヲ添加スルハ二十一番ノ説ニヨリテ修正説ヲ提出セント欲ス是レ年月ヲ添加スルハ輕ク「等悉ク」ヲ削ルハ重キヲ以テナリ

○議長 二十一番ノ修正説ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者十三人

○議長 多數ナルヲ以テ二十一番ノ修正説ニ決シ更ニ本會ヲ以テ確定會トスルニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十人

○議長 多數ナルヲ以テ本會ヲ確定會トナシ決議ノ次第ハ例ニ遵ヒ上奏セン散會スヘシ

午前第十時五十四分開場

元老院會議筆記明治十五年四月廿四日

○第三百二十二號議案
明治十年第十八號布告案
第三條改正布告案
第一讀會

議長代理
佐野常民

出席議員

- | | |
|----|-------|
| 一番 | 本田親雄 |
| 二番 | 神田孝平 |
| 五番 | 關口隆吉 |
| 七番 | 伊集院兼寛 |
| 八番 | 大久保一翁 |
| 九番 | 津田眞道 |
| 十番 | 黑田清綱 |

○議案第三百二十二號議案
明治十年第十八號布告案
第三條改正布告案
第一讀會
出席議員十三人
議長代理佐野常民
○議案第三百二十二號議案
明治十年第十八號布告案
第三條改正布告案
第一讀會
出席議員十三人
議長代理佐野常民

- 十二番 渡邊 清
- 十三番 岩下 方平
- 十六番 伊丹 重賢
- 廿一番 楠本 正隆
- 廿三番 箕作 麟祥
- 廿五番 東久世通禧
- 廿九番 林 友幸
- 三十番 海江田信義
- 卅一番 柴原 和
- 卅二番 鍋島 幹
- 内閣委員 番外 參事院議官山尾 庸三

同 番外 參事院議官補男谷 忠友

午前第十時十二分開場

○議長 議長ハ病痾未タ癒エスシテ缺席セルヲ以テ本官代理ヲ爲シ
 第三百二十二號議案第一讀會ヲ開ク書記官朗讀ノ後各位例ニ遵ヒ
 發議スヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十年二月第十八號布告第三條左ノ通改正ス

第三條

民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ川溝溜池道路堤塘敷其他潰シ地トナス時
 ハ工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ一旦着手スルモ若シ工事ヲ中止シ

テ六箇月ニ及フモノハ工事ヲ施シタル部分ヲ除キ其中止間ハ除税ノ限ニアラス

但工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノハ豫メ毎六ヶ月工程ノ區域ヲ定メ毎區域ニ據リ除税スヘシ

○番一 番山尾 本案ノ理由及ヒ事實ハ番外二番能ク習熟スル所ナレハ其説明及ヒ答辨ニ至ルマテ番外二番ヨリ之ヲ爲スヘシ各位請フ此旨ヲ了セラレンコトヲ

○番二 番男谷 忠友 本案ハ大藏省ノ上申ニ由テ成ル所ナリ抑明治十年第十八號布告第三條ニ依レハ民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ川溝溜池道路堤塘敷等ノ潰シ地トナストキハ其許可ヲ得タル前月迄ノ年分税ヲ收ムルコト、セリ此ノ如ク許可ヲ得タル月ヨリ除税スルコト、セ

ハ一旦許可ヲ得テ後幾年月間工事ヲ中止スルモ課税ノ限ニアラスルヲ以テ他ノ税法ニ比照シテ甚タ不權衡ナリトス或ハ又縱令工事ヲ中止セサルモ道路等ノ如キニ至テハ工事ノ大ナル延長數十里ニ渉ル者アリ此ノ如キハ必ス年月ヲ費サ、レハ之ヲ遂成スルコト能ハサルナリ而シテ現行法ニハ此事漠然敢テ他ノ税法トノ權衡ヲ顧ミサルカ如シ是本案ノ成ル所以ナリ今之カ實例ヲ舉ケテ各位ノ參考ニ供センニ静岡縣下ノ東海道中山嶺ノ道敷潰シ地十町步餘長野縣下信濃國芙蓉湖隧道新堰開鑿長延七里餘山形官城兩縣下羽前國關山村ヨリ陸前國作並村マテ延長三里岩手秋田兩縣下陸中國黑澤驛ヨリ羽後國横手驛ニ至ル長延十五里群馬新潟兩縣下清水越高崎ヨリ長岡ニ至ル四十七里餘福島山形兩縣下福島ヨリ米澤ニ至ル栗

子新道十二里是其大ナル者ナリ今此實例ヲ以テ之ヲ觀レハ許可シテ直ニ除稅スルトキハ幾多ノ年月間モ故ナクシテ除稅スル者ナリ以上辨明スル所本案ノ大要ナリ猶質疑アラハ問ニ從テ之ニ答ヘン

○十六番伊丹重賢 番外二番ノ辨明ヲ聞キ本案ノ要用ナルヲ知ル但案中「工事ヲ中止シテ六ヶ月ニ及フ云々」トハ滿六ヶ月間中止スルノ謂ナル乎

○番二番男谷忠友

一旦着手スルノ後事故アリテ中止六ヶ月以上ニ及フ者ヲ云フナリ但書ト參觀セハ分明ナラン

○卅一番柴原和

本官モ亦二三ノ質問アリ蓋シ本案ハ明治十年第十八號布告第三條ノ改正ナリ然ルニ該布告既ニ漠然ニシテ本案モ亦然ルモノアリ先ツ「川溝云々」トアル川溝ノ區別ヲ問ハン其所謂川溝

トハ大小ニ由ルノ稱呼ナル乎又ハ舟筏ヲ通スルヲ川ト謂ヒ舟筏ヲ通セサルヲ溝ト謂フ乎明治八年第五百五十四號布告ニハ「民有ノ用惡水路溜池敷堤敷及井溝敷地」トアリテ川ノ字ナシ知ラス何ニ由テ川溝ノ區別ヲナスヤ又現行法ニハ「云々堤塘敷等」トアルニ本案ハ「云々堤塘敷其他」トアリ本官思フニ等字ハ上ヲ括クル者ナリト然ルニ之ヲ其他トスルハ即チ此外ニ猶其類多カルヘシト云フニアル乎請フ其類ヲ舉示アラシコトヲ又「工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ」トアリ惟フニ公共ノ爲ニ田畑ヲ變シテ川溝溜池等トナスハ除稅シテ可ナルモ之ニ反シテ川溝溜池等ヲ潰シテ田畑トナストキハ其處分如何是レ猶除稅スル乎又「但工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノハ豫メ每六ヶ月工程ノ區域ヲ定メ云々」トアリ是レ文字上ハ之ヲ解スルヲ

得ルモ實際上之ヲ爲スコト如何但シ番外二番ノ云フ如ク道路ノ如キハ十里以上ニモ渉ル者アリテ必ス其工程多年ヲ要セン然ルヲ此但書ノ如クスルトキハ例ヘハ七里ノ道ヲ開クニ一里ヲ以テ六ヶ月ノ工程ト定メント欲スル乎工事ハ一人ニテナスト百人千人萬人ニテ之ヲ爲ストハ甚タ違フ者ニシテ即チ一人ニテ一萬日ヲ要スルノ工事モ萬人ニテ之ヲ爲セハ一日ニテ之ヲ終ルヲ得ヘシ此手續ハ如何スルヤ以上辨明ヲ請フ

○番二番男谷外 忠友

川溝ノ區分ハ唯從來ノ慣稱及其土地ノ便宜ニ從フナリ故ニ甲地人ノ見テ溝トスル者モ乙地人ハ呼テ川トスル者アリ又川ノ形ヲ爲シテ田舟ヲ泛ヘル處ヲ溝ト云フ者アリ故ニ其幅若クハ形ニ由テ直ニ川溝ノ區別ヲナスコト能ハスト雖モ要スルニ漕運其

他ノ便宜ニ供スル者ヲ呼テ川トナスナリ但之ヲ明言スルコト能ハス又川溝溜池等ヲ田畑ニ變換スルトキハ如何ノ間アレトモ此事タルヤ別ニ開墾規則ナル者ナキモ府縣官職制中ニ地種變換及土地變替ニ依リ地租ヲ減スル等ノ事ヲ主務ノ省ニ稟請シテ處分スルノ事アルナリ但開墾ハ利得ヲ思フノ念頭ヨリ起ル者ナレハ官許ヲ得テ開墾スレハ墾下年期アリ官許ヲ得スシテ開墾スレハ罰則ニ均シク開墾ノ初年ニ溯リ地價ヲ定メテ租稅ヲ追徵セラレ而シテ墾下年期ナシ且ヤ此事ハ隱田切開切添等ニ關シタル法律ノアルアリテ此ニ要セサルモノナリ又「工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノ云々」ハ卅一番明了ニ陳述セラレタル如ク工事ノ大小從事人ノ多寡相待ツハ當然ナリ法律ハ此ノ如キ細事ノ手續ニ立入ルヲ要セス蓋シ願人ト

地方官トノ意見ニ任スヘクシテ官之ヲ命令シテ年月ヲ限ル能ハサルナリ又等字ヲ削テ其他ノ二字ヲ填セシハ敢テ意味アルニアラス即チ現行法中ノ五箇ノ外其他猶此類アルヘキモ席上能ク考究スルコト能ハサルヲ以テ然リシナリ但其他ノ類ヲ明示セヨトノ問アレトモ本員モ亦之ヲ明言スルコト能ハサルナリ

○卅二番鍋島

本官ハ稍本案ノ旨趣ヲ了解セリト思ヒシニ今番外二番ノ辨明ヲ聞キ一ノ疑團ヲ惹起セリ蓋シ本案ノ旨趣タルヤ人民ノ情願ニヨリ官ノ許可ヲ得テ民有地ヲ川溝溜池道路等ノ潰シ地トナスヲ云フ者ナラン然ルニ番外二番ノ辨明スル所ヲ聞ケハ數十里ニ跨ルノ大工事アリ此ノ如ク數十里ニ跨ルノ大工事ナラハ民有地ヲ官ニ買上ケテナスノ事ナラン知ラス本案ハ果シテ人民ノ情願ニ出

ル者ノミニ限ル乎

○番二番男谷 忠友

然リ民有地ニシテ人民ノ情願ニ出ル者ノミナリ

○十二番渡邊 清

本官モ稍本案ノ旨趣ヲ解得シタリト信スレトモ猶一

問セント欲ス番外二番ノ川溝ノ區別ヲ公言スルコト能ハスト云フハ實ニ然ラン然レトモ既ニ用惡水ナル文字法律上ニアルヲ見レハ此用惡水ハ溝ノ中ニ含蓄スル乎將タ「其他」ノ二字中ニ含蓄スル乎又工程ノ事ハ願人ト地方官トノ意見ニ任スヘシト云フト雖モ要スルニ此但書ハ何ノ効能アリトシテ掲載スル乎特ニ六ヶ月工程ノ區域ヲ定ムルハ難事ナラン何トナレハ大工事等ニ至テハ縱令民費ヲ以テ之ヲ爲スト云フモ全民舉テ雀躍シテ事ヲ起ス者ノミニハアラスシテ必ス郡區長等ノ勸誘ニ由ル者多カラシ或ハ又都合ニヨリ着

手後費途支給人夫雇役等ニ苦情起リ實際差支ヲ生シテ當初ノ目的ヲ果ス能ハサル者アリ本官ハ十餘年間地方ノ職ニ在テ親ク之ヲ洞悉セリ故ニ實際ニ由テ之ヲ考フレハ本文ニ「工事ヲ中止シテ六ヶ月ニ及フ者ハ除税ノ限ニアラス」ノ文字アレハ但書ヲ掲ケテ別ニ工程ノ區域ヲ定メサルモ決シテ大ナル不都合ナカラントス

○番外二番男谷忠友 十二番ノ用惡水ハ溝ニ屬スヘキヤ否ヤト云フハ實ニ溝ニ屬スヘキヲ信ス但書ニ工程ノ區域ヲ定メシハ着手前ニ豫算ヲ立テサレハ着手後ニ至テ必ス不都合アルヘキヲ思フテナリ

○卅一番柴原和 番外二番ノ辨明ヲ聞キ益疑惑ヲ來シ愈本案ノ不備不明ナルヲ覺ヘ始ト廢案セント欲スルノ思想ヲ發セリ然レトモ本案タル素ト是レ現行法ノ改正ニシテ即チ現行法ハ前月分迄月割ヲ以

テ收入スル等ノ事ハ漠然タルニ由テ改正セサルヘカラサルニヨリ姑ク其廢案論ヲ止メテ茲ニ修正ヲ加ヘント欲ス蓋シ法律上ニ川溝ノ別ヲ爲サ、ルハ不可ナリ又等ノ字ヲ其他ト改正セシノ理由ヲ問ヒシニ番外二番ハ明答セス本官惟フニ其他ニ類推スヘキ者アラハ發明シテ後之ヲ掲クルモ可ナリ何ソ臆測ノ顧慮ヲ要センヤ彼ノ用惡水等ノ事モ亦本案ニ掲クヘキナリ又地目變換ノ事ヲ問ヒシニ府縣官ノ權限ニ任ストシテ府縣職制章程下款ヲ引テ答辨セリ此權限タルヤ地方官ハ之ヲ知ルヘキモ人民ハ之ヲ知ラサルヘシ例ヘハ茲ニ人アリ以爲ラク從來ハ便宜ヲ思フテ道路トセシモ今ヤ田畑ニ變スヘシトシテ之ヲ田畑ニ變セハ如何彼ノ溜池ノ如キハ灌溉ノ便ニ供スルカ爲メニ作ル者ナリ然ルニ池水澗レテ田ニ灌溉スルコト能

ハサルノ故ヲ以テ之ヲ變シテ田畑トナサハ如何スルヤ又但書ノ答
辨ノ如キモ其辭ハ能ク聽取スルヲ得タレトモ工夫ノ員數ヲ定メサ
ルハ解セサルモノトス此ノ如ク不備不明ノ法案ナルヲ以テ大體ヲ
云ヘハ廢案セサルヘカラサルモ現行法ノ改良ヲ圖ルノ意ニ出ルモ
ノナルニヨリ全部付託修正委員ヲ選定セラレンコトヲ企望ス蓋シ
内閣委員ノ辨明ヲ聞テ益疑團ヲ加フレハナリ

○廿三番 箕作 麟祥

賛成ス本案メ大修正ヲ要スルハ發議者ノ云フ如シト
雖モ本官モ亦別ニ之ヲ賛成スル所以ノ理由ヲ述ヘン向ニ内閣ヨリ
下付サレタル第三百十一號ノ土地ヲ欺隱シ及ヒ私ニ開墾シ又ハ地
目ヲ變換シテ官ニ告ケサル者處分方ノ議案モ大修正ノ要點アルニ
由テ全部付託修正委員五名ヲ置キ今方ニ修正中ナリ本案ハ該議案

ト其趣意ヲ異ニスト雖モ自カラ牽連スルノ法案ナリ蓋シ該案ハ罰
例ヲ帶ヒ本案ハ然ラストスルモ工事ヲ中止シテ逋稅ヲ望ムノ輩ナ
キヲ保セサルナリ要スルニ内閣委員ノ辨明中ニモ隱田切開切添等
ノ事ヲ引用スルカ如ク本案ハ自カラ第三百十一號議案ト連帶スル
ニ由リ願クハ該議案ノ修正委員ヲ以テ本案ノ付託修正委員ニ充ン
コトヲ望ム

○番 男谷 忠友

卅一番ハ川溝ノ區別ニ疑惑アリト云フト雖モ川溝ノ
文字ハ現行法ニアルノ文字ナリ今何ソ換フルニ用惡水ノ字ヲ要セ
ンヤ又官ノ許可ヲ得スシテ地目ヲ變換スル者アラハ隱田切開切添
地等ノ規則ニ由テ之ヲ處分スルヲ以テ當然ナリトス但本案ハ即今
下付中ノ土地ヲ欺隱シ及ヒ私ニ開墾シ又ハ地目ヲ變換シテ官ニ告

ケサル者處分方ノ法案ト牽連シタル者ナレハ卅一番ノ疑團ノ如キ
ハ彼ノ土地ヲ欺隱シ云々ノ法ヲ以テ處分スレハ釋然タランノミ

○二番 神田 孝平 工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノハ云々トアレトモ此

七ヶ月以上ニ渉ルヤ否ヤノ區域ヲ定ムルハ實ニ難事ナラン今一例
ヲ舉ケンニ市中ニ港ヲ築ク乎船渠ヲ造ル乎ノ工事ヲ起サントスル
ニハ先ツ其場所ニアル所ノ家屋ヲ他ニ移轉セサルヘカラス尋テ石
垣ヲ築キ橋梁ヲ架セサルヘカラサルノ場合アラシニハ必ス此規則
ニ從ハサルヘカラス就テハ七箇月以上ヲ要スルハ當然ナリ知ラス
能ク其區域ヲ定ムルヲ得ヘキヤ

○番外二番 男谷 忠友 工程ノ區域ヲ定メテ其豫定ヲ確然タラシムルハ難事

ナリト雖モ大約大工事ヲ起サントスルニハ先ツ其經費ノ如何用材

ノ如何工夫ノ如何年月日ノ如何ヲ豫算セスシテ漠然事ニ從フ者ハ

○ナカルヘシ必スヤ先ツ其豫算ヲ立テ、後着手スヘキナリ

○十二番 渡邊 清 答辨ヲ聞テ益疑ヲ來タセリ本官ハ到底本案ヲ見テ不

○完全ナリト信スルニヨリ卅一番ノ建議ヲ贊成ス

○廿五番 東久世 通禧 到底本案ハ修正セサルヘカラサルニヨリ廿三番ノ

建議ノ如ク第三百十一號議案ノ付託修正委員ヲ以テ本案ノ付託修

正委員トナサシコトヲ望ム

○議長 卅一番ノ建議ハ本會ノ終リニ於テ決ヲ取ルヘシ尙論議アラ
ハ發議セヨ

○二番 神田 孝平 番外二番ノ辨解ノ如クシハ不都合ヲ生スルヲ恐ル、ニ

ヨリ修正委員ノ參考ニ供スルカ爲メ更ニ一辨セン茲ニ堀割船渠等

ノ工事ヲ起スニハ必ス家ヲ移ス等ノ事アリテ數年ヲ要スルノ事モ
 アラン例ヘハ一年ヲ要スルトセンニ其場處ニ當ル前ノ半分ヲ前半
 年ニ移シ其後半年ニ移スヘキ場處ハ尙課稅スト云ハ、必ス工事ヲ
 妨クルニ至ラン此後半年ニ移スヘキ場處ニ課稅スルハ法律アルカ
 爲ニ猶豫ノ期ヲ與ヘサル者ナリ都合ニヨリ二丁若クハ三丁間ニア
 ル所ノ家屋ヲ一度ニ移スコトアルヘシ然ルヲ本案ノ如クセントス
 ルハ道理上爲ス能ハサル者ノ如キナリ

○議長 卅一番ノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

○起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ卅一番ノ建議ニ決シ乃チ本案ハ第三百十一
 號議案ニ牽連スルヲ以テ該議案ノ全部付託修正委員ナル五番關口 隆吉

十二番渡邊 清 廿一番楠本 正隆 卅一番柴原 和 卅二番鍋島 幹ノ五議官ヲ以テ全部

付託修正委員ニ充ツ其報告ヲ待テ後會ヲ開カン散會スヘシ

午前第十一時十分閉場

元老院會議筆記明治十五年六月二十八日

○第三百二十二號議案 明治十年第十八號布告第三條改正布告案 第二及第三讀會

議長代理 佐野常民

出席議官

- 一番 本田 親雄
- 二番 神田 孝平
- 四番 稅所 篤
- 八番 大久保一翁
- 九番 津田 真道
- 十番 黑田 清綱
- 十二番 渡邊 清

平田 親雄
 神田 孝平
 津田 真道
 大久保 一翁
 黑田 清綱
 渡邊 清

- 十三番 岩下方平
- 十五番 津田出
- 十七番 鍋島直彬
- 十九番 大給恒
- 廿一番 楠本正隆
- 廿二番 野村素介
- 廿三番 箕作麟祥
- 廿四番 西周
- 廿五番 東久世通禧
- 廿六番 榎村正直
- 廿七番 細川潤次郎

午前第十時十五分開場

- 内閣委員
- 番外 参事院議官山尾庸三
- 番外 参事院議官補男谷忠友
- 同

○議長 議長ハ宿痾未タ癒ヘサルヲ以テ本官代理ヲナシ第三百廿二

○號議案ノ第二讀會ヲ開ク茲ニ本案ハ下付原案ト全部付託修正委員ノ報告案トアリ例ニ依リ孰レヲ議案トスルヤノ決ヲ取ラン修正案ヲ以テ本案トスルニ同意者ハ起立スヘシ
起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ全部付託修正委員ノ報告案ヲ以テ本案トナス

書記官 森山 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十年二月第十八號布告第三條左ノ通改正ス

第三條

民有地 港用惡水路

民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ川溝溜池道路堤塘敷其他潰シ地トナス時

ハ工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ一旦着手スルモ若シ工事ヲ中止シテ六ヶ月ニ及フモノハ工事ヲ施シタル部分ヲ除キ其中止間ハ除稅ノ限ニアラス

工事

每ニ其

但工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノハ豫メ每六ヶ月工程ノ區域ヲ定メ每區域本條ニ據リ除稅スヘシ

○十二番 渡邊 案中民有地ノ下川港ノ二字ヲ脱セリ各位請フ之ヲ諒

セラレヨ

○議長 書記官ハ川港ノ二字ヲ加ヘテ朗讀シタルヲ以テ各位モ既ニ知ル所ト雖モ更ニ告ク各位ニ頒布セシ案中ニ民有地ノ下川港ノ二字ナキハ誤脱ナリ

○十二番 渡邊 原案ヲ此ノ如ク修正セシ理由ヲ略陳セン冒頭民有地

ヲ官ノ許可ヲ得テ「官ノ許可ヲ得テ民有地」ト倒置セシハ敢テ理由アルニアラス唯文章ノ齊整ヲ欲スルニ過キスト雖モ原案ニ「川溝」トアリシヲ「川港用惡水路」ト修正セシハ大ニ理由ノ存スル有テ然ルナリ何トナレハ地所名稱區別中ニモ用惡水路ノ目アリテ川溝ノ目ナシ今既ニ「川溝」ト云ヘハ用惡水路ハ乃チ川ニ屬スヘキヤ將タ溝ニ屬スヘキヤ未タ其所屬ヲ詳カニスル能ハサレハナリ惟フニ郡村ニハ堤塘敷等ノ潰シ地トナスヨリハ寧ロ用惡水路ノ潰シ地トナスモノ多カラシ故ニ用惡水路ト掲ケテ之ヲ明示セリ已ニ之ヲ明示セハ溝ハ乃チ用惡水路中ニ含蓄スルコト云ハスシテ明了ナリ是レ溝ノ字ヲ削リシ所以ナリ而シテ之ニ代フルニ港ノ字ヲ以テスルハ彼ノ地所名稱區別中ニハ無キ所ト雖モ國運ノ進歩ニ乘シテ必ス無

カルヘカラス起サ、ルヘカラサル者ナルヲ以テナリ又原案但書ニ「工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノハ豫メ毎六ヶ月工程ノ區域ヲ定メ云々」トアルハは大ニ難事ナリトス今若シ延長十里ノ道路ヲ開鑿セントスルニ例ヘハ甲點ヨリ乙點マテ幾月乙點ヨリ丙點マテ幾月ト概算ヲ立ルヲ得ルトスルモ工事ヲ起スニハ必ス資金ト人夫トヲ以テ第一要トナス而シテ其工事ヲ企ル者ハ出願前ニ於テ該資金ヲ積ムヘキヤ否ヲ問ハ、必スヤ許可ノ後ニ在リテ積ム者ヲ多シトス又既ニ許可ヲ得テ着手中ニ當リ天變若クハ種々ノ故障ニ遇フテ猶豫シ若クハ場所ヲ他ニ移スコトアリ此理ヲ以テ之ヲ推セハ原案ノ如クンハ其出願ニ苦ムコトナキ能ハス故ニ修正委員中ニ於テ寧ロ此但書ヲ削除スヘシト論及スルモノアリタリ然レトモ一抹之ヲ削

除スルトキハ乃チ出願スル所ノ人民ニ不都合ヲ與フルノ理ヲ生ス
何トナレハ六ヶ月以内ニ工事ヲ畢ルモノハ論ナキモ其六月以上ニ
涉リ假令八十里ノ道路ヲ開鑿セントスレハ必ス其全局ノ工程ヲ出
願セサルヘカラサルノ姿トナルヲ以テ甲乙丙丁ノ數點ニ彼此少々
ツ、着手スルカ如キ姑息ニ出ルナキヤヲ恐ル、ナリ其之ヲ恐ル、
ハ即チ活路ナキヲ以テナリ故ニ當初過嚴ナリト認メシ原案ヲ執テ
更ニ活路ヲ與ヘ則チ本案ノ如ク七ヶ月以上ニ渉ルヘキ工事ハ六ヶ
月毎ニ其工程ヲ量リ云々トスルトキハ何レノ區域ヲ論セス其工程
ヲ量リテ出願スルヲ得ルナリ若シ夫レ之ヲモ不用ナリト云ハ、本
文ノ一旦以下ノ文字モ亦不用トナルヘシ今假リニ本文ノ一旦以下
ト但書トヲ削除ストスレハ此修正モ素ヨリ不用ト云ハサルヘカラ

ス畢竟現行法ト異ナル所ハ單ニ年分稅納ヲ翌月ヨリスルト着手ノ
月ヨリスルトノ差ヲ立ルニアルノミ之ヲ要スルニ本修正ノ如クナ
ラサレハ租稅均一ノ法ニアラサルナリ

○廿九番 林友幸

修正委員ニ質ス本案川港トハ將來民有地ニ港ヲ築ク

ノコトアルヘシト認メテ港ノ一字ヲ添加セリト云フモノ、如シ其
所謂將來民有地ニ築港スルトハ如何ナル場合ナルヤ

○卅一番 柴原和

本官モ修正委員ノ一人ナルヲ以テ廿九番ノ質疑ニ答

ヘン即チ川港トセシハ十二番モ述ヘシ如ク川溝トスルトキハ用惡
水路ハ溝ニ屬スルヤ將タ川ニ屬スルヤヲ知ル能ハサルヲ以テ之ヲ
用惡水路トスルトキハ溝ノ用惡水路中ニ屬スルハ云ハスシテ知ル
ヘキヲ以テナリ而シテ川ヲ存セシハ川ハ運輸ノ便ニ供スル者ニシ

テ溝ト殊ナルカ故ナリ又港ハ船舶ノ碇泊場ナリ此港ヲ築クニハ民有ノ山林田畑家屋等ノ存在スル地モアルヘク豪家一己ノ私有地モアルヘシ又共有ノ地モアルヘキナリ是レ恰モ道路ト一般ニシテ唯其殊ナル所ハ方圓形ト延長トアルノミナリ蓋シ港ハ其地形ニ由テ大川大河ノ接流ヲ掘テ築ク者ナレハ必ス官有地ニ限ルノ理ナシ彼ノ野獸ノ侵入ヲ防ク如キ乾溝ハ其他潰シ地トアル其他ノ字中ニ包含スルモノトシテ可ナラン

○廿九番 林友幸 辨明ヲ得テ益々疑ヲ生セリ惟フニ大川大河ノ接流ヲ掘ルヲ以テ民有地ニ港ヲ築クモノトハ解スヘカラス大河及海面等ハ乃チ官有物ナリ然レハ民有地ノ築港ハ得テ爲スヘカラサルカ如シ更ニ明解ヲ乞フ

○卅一番 柴原和 港ハ自然ニ其體ヲ爲ス者アリト雖モ全然人工ヲ假ラサル者ヲ以テ港ト限ルニアラス風ヲ避クルニ最モ適當ナル地形ヲ相シテ他人ノ地所ヲ買ヒ之ヲ潰シテ港トナスノ事ハ寔ニ多々アルヘキモノトス

○十二番 渡邊清 本官ハ却テ港ノ字ニ疑ヒアルヲ疑フナリ抑モ港ヲ築クニハ必ス築カサルヘカラサルノ場合ニ至レハ其區域内ニハ川アリ海アリ田畑アリ寄洲等モ亦アルヘシ是等ノ地目悉ク官有ナリトセハ論ヲ待タサレトモ若シ一部分ニテモ民有地ノ其間ニ介スルアラハ如何ソヤ是レ法律中ニ此事ナクンハ其處分ニ苦ムニアラスヤ質議者請フ之ヲ了セヨ

○廿三番 箕作麟祥 港用惡水路ノ五字ヲ添加シテ溝ノ一字ヲ削リシ理由

○ハ聞ヲ得タリ蓋シ其此ヲ加ヘ彼ヲ削リシ大意ハ地所名稱區別中ニ用惡水路ノ目アリテ川溝ノ目ナキニ據ルト云リ然リト雖モ地所名稱區別中ニハ港ノ字アルコトナシ然ハ則チ一ハ之ニ據リ一ハ其他潰シ地ト云ヘル其他ノ字ニ含マシムトシテ之ニ據ラサルハ所謂ル實際上此ノ如キヲ要スル乎敢テ修正委員ニ質ス

○卅一番柴原和

地所名稱區別中ニ港ノ目ナキハ闕典ナルニ依リ溝ニ代ルニ港ノ一字ヲ以テセリ又用惡水路ヲ加ヘシハ地所名稱區別中ニアルノ目ナルヲ以テナリ蓋シ用惡水ハ郡村ニ在テハ或ハ飲料ニ供シ或ハ灌溉ニ用ヒ要用闕クヘカラサル者タリ用惡水モ亦其川溝中ニ含蓄スルモノトシ敢テ不可ナキニ似タレトモ川溝ノ區別分明ナラサルカ爲メニ其一ハ果シテ蛇足ニ屬スルヲ恐ル、ナリ要スル

ニ運輸ノ便ニ供スル所ノ川ノ社會ニ必要ナルカ如ク港亦社會ニ闕クヘカラサル者ナリ因テ彼是加刪シテ其闕典ヲ補ヒシナリ

○卅三番渡邊洪基

本官ハ疑義ナキヲ以テ本案ヲ修正セントス其修正ハ官ノ許可ヲ得テ民有地ヲ川溝溜池云云以下下付原案ニ據ラシムルナリ蓋シ川ト云ヒ溝ト云フハ其形ヲ云フ者ニシテ敢テ其用ヲ云フニアラス彼ノ溜池ノ如キモ或ハ用水即チ飲料トナルコトアルヘシ特ニ十年以來慣用シテ故障ナキヲ以テ下付原案ニテ決シテ不可アルユトナシ但書モ亦下付原案ニテ可ナリ蓋シ但書ハ人民官ノ許可ヲ得テ着手スルヲ云フモノニシテ決シテ官之ヲ着手スルヲ云フニアラス即チ人民ヨリ其工程ノ區域ヲ定メテ官ニ出願シ官之ヲ至當ナリト認定セハ之ヲ許可シテ除稅スヘシ然ルヲ本案ノ如クスルト

キハ官之ヲ着手スルニ當リ大ニ不可ナリトス

○廿三番 麟作

卅三番冒頭ノ修正ハ本官モ同感ナリ獨リ但書ヲ下付

原案ニ復スルニ至テハ賛成スル能ハス故ヲ以テ萬一卅三番ノ修正

說消滅セハ本官ハ更ニ修正說ヲ提出スヘシ

○議長 卅三番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○二番 神田孝平

第一讀會以來反覆熟考スルニ到底本案ハ不完全ナルヲ

以テ之ヲ廢棄セント欲シタレトモ若シ今之ヲ廢棄スルトキハ現行

法ノ不完全ヲ補フ能ハス故ニ已ヲ得ス終ニ之ヲ修正セサルヘカラ

サルニ至レリ茲ニ先ツ本案ノ不可ナル三點ヲ舉ケテ後チ修正說ヲ

提出セントス即チ第一點ハ「工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ」ト云フ

ハ道理上不穩ノコトトス其故ハ着手ノ月ヨリト云ヘハ一月ニ着手

セハ一月ヨリ除稅スル者ヲ云フナルヘシ彼ノ鐵道ノ如キ大工事ニ

至テハ漸次着手スル者ナルヲ以テ或ハ七ヶ月後ニ及フコトモアル

ヘシ然ルニ彼ノ一年一度ノ收穫アル地所ノ如キモ必ス工事ノ及フ

ヘキ部分ハ播種ヲナサス毫モ收穫ナキニ直ニ免稅ノ限ニアラサル

コト、ナルヘシ蓋シ實際ニ就テ之ヲ云ハ、該地所所有人ヨリ納稅

スルニハアラサルヘシ然レトモ若シ該地所所有人ヨリ納メシムル

モノトセハ其地價ヲ高賣スルヤ必セリ且是等ハ企工人ヨリ納ムル

モノトセハ着手ニ差支ナキカ如キモ收穫ナクシテ地稅ヲ納ムルノ

理ハ萬アルヘカラサルナリ第二點ハ中止六ヶ月ニ及ヘハ納稅セサ

ルヘカラスト云是ナリ但其中止ニモ種々ノ情實アルヘシ彼ノ怠惰

ニヨリ中止スル者ノ如キハ素ヨリ徵稅スヘキモ風雨氷雪等人力ヲ

以テ抗拒スヘカラサルノ天變ニヨリテ中止スルコトアルヲ如何セ
 ン第三點ハ「工事ノ七ヶ月以上ニ渉ルヘキモノ云々」ナリ此點タル
 第一讀會ニ方リ既ニ大ニ原案ノ不可ヲ駁シタリシニ今本案ノ如ク
 ナリシハ稍穩カナルニ似タレトモ猶充分ナリトスヘカラス蓋シ長
 延ノ道路又ハ堀割等ニハ不可ナカルヘキモ溜池船渠埠頭等ニ至テ
 ハ一年以上ニ渉ルコトアルヘキヲ以テ工業ノ性質ニ於テ豫メ區域
 ヲ定メントスルハ到底能ハサルコトナリ前陳ノ如キ不都合ノ生ス
 ルハ畢竟一旦許可ヲ得テ後免稅ヲ圖ラントシテ故意ニ怠ル者ヲ防
 クカ爲メニ此法ヲ設クルニ及ヒシナリ故ニ本案前半ハ道理アレト
 モ後半ハ道理ナキコトヲナス者ナレハ更ニ簡明ノ法ヲ設ケサルヘ
 カラス即チ本官ハ此弊ヲ防ク爲メニ「工事着手」ヲ地目變換ノ四字

ニ改メント欲ス蓋シ市街田畑等ヲ用惡水路溜池等ニ變換スルニハ
 地券書替等ノ手續ハ之ヲ爲スヘキモ要スルニ金ヲ拂フヲ以テ大本
 トシ之ヲ拂ハサル間ハ地目ヲ變換スルコト能ハサルヘシ然レハ則
 變換前ニ資本ノ大部分ヲ要スル者ナレハ僅カニ免稅アルヲ以テ工
 事ヲ怠ルノ理ナシ他ノ緣故ヨリシテ中止スル者ハ必ス天災ノ不幸
 等ナルヲ以テ政府寛大之ヲ補助スルモ可ナリ夫レ工事ハ國利ヲ圖
 ルノ基ナルカ故ニ政府モ人民ヲ鼓舞シテ之ヲ起サシムルハ起業公
 債ノ募集アリシ所以ナリ官且ツ自カラ之ヲ興ス苟モ不是ノ工事ハ
 素ヨリ許可セサルナリ既ニ許可スルノ工事ハ必要ナルニ相違ナキ
 者ナレハ寛大以テ之ニ莅ムハ當然ナリ故ニ一旦以下ヲ削除セント
 欲ス敢テ請フ本官ハ工事着手ヲ地目變換ト修正シ一旦以下ヲ削ル

ヲ大主眼トス然レトモ但書ノ如キハ善修正アラハ亦之ニ從フコトモアルヘシ故ニ先ツ一旦以上ヲ一問題トシ一旦以下ヲ一問題トシ前後兩分セラレンコトヲ併テ建議ス

○九番 津田眞道 一旦以下ヲ削ルノ修正ヲ賛成ス

○議長 二番ハ前後兩分シテ問題トセントノ議ナルヲ以テ先ツ兩分スヘキヤ否ノ決ヲ取ラサル間ハ賛成者アルモ問題トナス能ハス即チ前後兩分シテ問題トナスニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ前後兩分シテ問題ニ付スルノ議ハ消滅ス

○番外二番 男谷忠友 二番ハ本案ヲ駁スル三要點ヲ舉ケ而シテ富國ヲ圖ルノ工事ナルヲ以テ政府勸奨鼓舞スヘキ者タルノ理由ヲ説ケリ其然

リ然レトモ本案ハ收税ノ公平ヲ基トシテ起草シタル者ナルヲ以テ工事ノ勸勵ハ他ノ法律規則ニ讓ルナリ蓋シ立法ノ精神ハ徵收スヘキ租税ハ必ス徵收シテ貸サ、ルニアリ

○議長 二番ノ修正説ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○廿三番 箕作麟祥 修正委員ハ苦心シテ川港用惡水路等ノ實名詞ヲ累掲

シテ其然ラサルヘカラサルノ理由ヲ喋々辨明スト雖モ本官ハ前陳セシ三十三番前半ノ修正説ノ如ク冒頭官ノ許可ヲ得テ民有地ヲ川溝云々トナシ以下總テ本文ヲ下付原案ニ復センコトヲ望ム蓋シ十年第十八號布告ニモ川溝ノ目アリ此目中用惡水路ヲ含蓄スト解セハ毫モ故障アルコトナシ又港ヲ築クニハ民有地ヲ潰スコトモアルヘシト雖モ是亦稀ニ有テ常ニ無キノコトナリ稀有ノコトナルモ猶

法律ニ明掲セサルヘカラストシ逆ヘテ此ノ如クセント欲セハ豈獨
 リ港ノミナランヤ故ニ此等ハ「其他潰シ地」トアル其他ノ中ニ含蓄セ
 シメテ可ナリ大體ヲ云ヘハ「潰シ地」トナスニテ明了ナリ故ヲニ潰地
 ノ實名詞ヲ連掲スルヲ要セサルナリ然ルニ今特ニ之ヲ掲クル者ハ
 世上未タ潰地トナストハ如何ナル者ヲ指スヤヲ明解セサルヲ以テ
 止ムヲ得スシテ上ニ二三ヲ示シ之ヲ例スルナリ要スルニ十年第十
 八號布告ハ收稅除稅區分法ニ外ナラサレハ此區分判然セハ既ニ他
 ニ待ツ所ナキモノナリ但現行法ハ許可ヲ得タル月ヨリ除稅スルト
 ノ不可アルヲ以テ本案之ヲ改良シテ着手ノ月ヨリトシタルノミ故
 ニ港ノ如キハ議案外ノコト、知ルヘシ若シ用惡水路ハ川溝中ニア
 ラストスルモ同ク潰シ地タルニ相違ナカルヘシ其然リ川溝ノ區別

判然セスト論スルモ皆潰シ地タルコト判然セハ可ナラン強テ區別
 ノ判然タランコトヲ望マハ道ト云ヒ路ト云ヒ堤ト云ヒ塘ト云フハ
 何ヲ以テ之ヲ判別スルヲ得ル乎是等ノ理由ナルヲ以テ本官ハ前陳
 ノ如ク之ヲ修正セントス但シ但書ハ修正委員ノ說ニ從フ是レ前ニ
 三十三番ヲ賛成スル能ハサリシ所以ナリ

○廿九番 林友幸 賛成ス

○議長 廿三番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿七番 細川潤次郎 本官ハ一字ノ修正ヲ加ヘサルモ本文ハ下付原案ニ

テ可ナリトス即チ十年第十八號布告第一二條共ニ冒頭民有地云々
 官有地云々トアリテ此原案モ文例同一ナルヲ以テナリ

○議長 廿三番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者九人

○議長 少數ナルヲ以テ廿三番ノ修正説ハ消滅ス

○廿七番 細川潤次郎 本官ハ本案ニ對シ種々ノ議論ナキニアラスト雖モ

姑ク議場ノ景況ニ據リ最モ採用ニ便ナル修正ヲ提出セン即チ下付

原案ニ復スルノ修正説ナリ賛成者アリテ議場ノ問題ト爲ランコト

ヲ望ム

○廿二番 野村素介 賛成

○議長 廿七番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿七番 細川潤次郎 一語ヲ脱セリ但書ハ修正委員ノ報告案ヲ採ルナリ

○九番 津田真道 本官ハ廢案ノ精神ヲ以テ稍二番ヲ賛成セント欲シタレ

トモ終ニ行ナハルヘカラサルヲ察セシヲ以テ論辨ヲ費サ、リシニ

現問題ハ本案ニ比スレハ可ナルヲ以テ之ヲ賛成ス修正委員ハ大ニ

心志ヲ盡シテ用惡水路等ノ文字ヲ挿入セシト雖モ畢竟徒勞タルヲ

免カレサルナリ

○廿三番 箕作麟祥 冒頭ノ文字ハ下付原案ノ如クスルトキハ現行法ト文

例一致ナルヲ以テ敢テ不可アルコトナシ亦原案ノ如クシテ見解ヲ

下スヘカラサルニモアラサレハ強テ本官前陳ノ如クセサルモ可ナ

ルヲ以テ之ヲ賛成ス

○廿六番 榎村正直 本官モ前ニ二十三番ニ同意ヲ表シタレトモ今二十七

番ノ説ハ大異ナキヲ以テ亦之ヲ賛成ス到底用惡水路等ノ文字ハ不

用ニ屬スルナリ

○廿四番 西周 本官モ廿三番ニ賛成ヲ表シタレトモ現問題ハ更ニ善良

ナルヲ以テ之ヲ賛成ス

○卅四番^{三浦安}

本官ハ本文ハ現問題ヲ賛成スレトモ但書ハ下付原案

ヲ可トス蓋シ下付原案ノ但書ハ過嚴等ノ論アレトモ之ヲ極言スル
トキハ兩案共ニ同一轍ニ歸スヘシ始メヨリ豫算ヲナス能ハサル者
ナラハ素ヨリ着手スヘキノ理ナシ又着手ノ後ニ豫算ニ違ヒアラハ
爾時更ニ出願スルモ可ナリ寧ロ文體ニ由レハ卅三番ノ言ノ如ク人
民ヨリ出願シテ官之ヲ許可ストスルヲ適當トス故ニ本官ハ前後ヲ
兩分シテ問題ニ付セラレンコトヲ建議ス

○卅一番^{柴原和}

廿七番ハ議場ノ景況ヲ見テ採用ニ便ナルノ修正ヲ出

セシヲ以テ必ス其說ノ行ハルヘキヲ知ル即チ本官等ノ報告セシ但
書モ最モ採用ニ便ナル者ナリ但シ用惡水路ヲ加ヘシハ辨明未タ足

ラサル所アルヘキヲ恐ル、ニヨリ更ニ一辨セン八年第五百五十四號
布告ニハ民有ノ用惡水路溜池敷堤敷及井溝敷トアルヲ以テ當時
本官職ニ地方ニ在リシ日主務省ニ向テ井溝敷ト用惡水路ハ殊ナル
所アリヤ否ヲ質セシニ主務省ハ地方ニヨリ稱呼自カラ殊ナル所ア
ルヲ以テ重複ヲ厭ハス連掲セリト答ヘタリ然レハ則今本家中ニ用
惡水路ヲ省カハ人民ハ見テ用惡水路ハ與カラストナスヘシ是本官
等用惡水路ヲ加ヘシ所以ナリ又廿三番九番等ハ此用惡水路ノ文字
ヲ加ヘシハ修正委員ノ苦心ニ成レリト説ケトモ敢テ然ルニアラス
本官等ハ容易ニ之ヲ加ヘ毫モ苦心セシコトアラサルナリ

○議長 卅四番ノ現問題ヲ兩分スルノ建議ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ卅四番ノ建議ハ消滅ス發議盡クルヲ以テ廿七番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ廿七番ノ修正ニ決シ茲ニ第二讀會ヲ了ル

○番二番 男谷 忠友 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ム

○議長 番外二番ノ請求ヲ許スヘシトスル者ハ起立スヘシ

起立者二十四人

○議長 多數ナルヲ以テ直ニ第三讀會ヲ開クヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十年二月第十八號布告第三條左ノ通改正ス

第三條

民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ川溝溜池道路堤塘敷其他潰シ地トナス時ハ工事着手ノ月ヨリ除稅スヘシ一旦着手スルモ若シ工事ヲ中止シテ六ヶ月ニ及フモノハ工事ヲ施シタル部分ヲ除キ其中止間ハ除稅ノ限ニアラス

但七ヶ月以上ニ涉ルヘキ工事ハ六ヶ月毎ニ其工程ヲ量リ除稅ノ

區域ヲ定ムルモノトス

○十二番 渡邊 清 民有地ヲ官ノ許可ヲ得テ云々トスルヨリモ官ノ許可

ヲ得テ民有地ヲ云々トスルヲ可トス第一二條中ニ民有ノ云々官有ノ云々トアルハ此ノ如クスル外別ニ書スヘキノ文法ナキヲ以テ然リト雖モ本條ハ官ノ許可ヲ得テ民有地云々トセサレハ口調其當ヲ

得サルニ依リ前陳ノ如ク之ヲ修正セントス

○議長 十二番ノ動議ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○二番 神田 孝平 本官領收セシ所ノ案中ニハ「左ノ通改正追加ス」トアリ今

書記官ノ朗讀中ニ追加ノ字ナキハ何ソヤ

○議長 追加ノ二字ハ過誤ナルノ旨ヲ全部付託修正委員ヨリ頒布後ニ供出セリ故ヲ以テ其過誤ノ旨ヲ更ニ各位ニ通牒セリ二番ハ或ハ其通牒ニ漏レシニアラサラン乎

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ茲ニ第三讀會ヲ了ル決議ノ次第ハ例ニ遵ヒ上奏セン散會スヘシ

午前第十一時五十八分閉場

元老院會議筆記明治十五年五月三日

○第三百二十三號議案 明治十四年第十四號 第一第二及第三讀會

議長代理 東久世通禧

出席議官

- 二番 神田 孝平
- 四番 稅所 篤
- 五番 關口 隆吉
- 七番 伊集院兼寬
- 八番 大久保一翁
- 十二番 渡邊 清
- 十六番 伊丹 重賢

廿一番 楠本 正隆

廿三番 箕作 麟祥

廿九番 林 友幸

卅一番 柴原 和

内閣委員 番外二番 參事院議官補男谷 忠友

午前第十時七分開場

○議長 本日ハ正副議長缺席セルニ由リ本官代理ヲ爲シ第三百二十

三號議案第一讀會ヲ開ク例ニ遵ヒ發議スヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十四年二月第拾四號布告但書左ノ通改正ス

但市街宅地地租ノ儀ハ該年七月翌年一月兩期ニ其五步宛ヲ收納スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○番外二番 男谷 忠友 本案ハ大藏省ノ上申ニ由テ成リタル法案ニシテ明治

十四年第十四號布告但書ノ改正案ナリ茲ニ本案ノ頒布ヲ要スル所

以ハ右第十四號布告但書ニ市街地租ノ儀ハ従前ノ通タルヘシトア

ルヲ以テ市街中ニ在ル處ノ田畑宅地藪林及草生地等ノ地租モ皆盡

ク此中ニ包藏シタル者ノ如ク思惟セラル然ルニ其精神ハ惟市街中

ノ宅地ノミヲ謂フニ過キス是ニ由テ官民共ニ錯誤ヲ生シ遂ニ地方

官ヨリ大藏省ニ稟議スル者往々之アルニ至ル是レ畢竟該但書ノ備

明ナラサルニ根スルヲ以テナリ本案ハ則チ之カ不備ヲ補フニ在リ

テ敢テ他故アルニ非ス各位之ヲ領シ尙ホ質疑アラハ隨テ之ヲ辨セ
ン

○十二番 渡邊清 本案ハ簡單ナル改正案ニシテ特ニ疑義ノ質スヘキナ

ク其旨趣ニ至テモ本官ハ全ク異議ナキナリ

○十六番 伊丹重賢 本案ヲ可トス但案中「其五步宛云々」ナル「步」字ハ部分

ト云ヘル「分」字ノ誤謬ナルカ如シ如何

○外二番 男谷忠友 然リ「步」ハ「分」ノ誤リナリ乞フ十六番其他各位之ヲ領

セヨ

○廿三番 箕作麟祥 文字上ニ就キ聊カ疑義アリ十四年第十四號布告ニハ

「地租徵收云々」トアリ本案ニハ「五步宛」ヲ收納云々「トアリ蓋シ徵收

トハ上ヨリ立ツル言ニシテ收納トハ下ヨリ云フノ辭ナレハ甲乙其

主客ヲ異ニスルモノ、如シ但是等ハ齊一ナラサルモ敢テ妨ケナケ
レハ強テ論スルヲ須ヒスト雖モ今回特ニ收納ノ文字ヲ用ヒタルハ
或ハ其理由ノ存スルアルニ由ルカ

○外二番 男谷忠友 廿三番ノ質疑ニ答ヘン十四年第十四號布告ハ原來官

民兩ナカラ相通スル者ナルヲ以テ先ニ徵收ノ語アルモ今此ニ收納
ノ語ヲ用ヒタル迄ニシテ敢テ深意アルニ非サルナリ

○卅一番 柴原和 本案ヲ可トス是レ全ク明治十年第五十三號布告ノ但

書ヲ移シ來リテ之ニ「宅地」ノ二字ヲ插入シタルニ過キサルナリ思フ

ニ東京ノ如キハ市街中田畑草生地等鮮ナカラス他府縣ニ在テモ亦
此類多シ然ルニ現行法ニ據レハ是等ノ收稅ハ宅地ト同一ナルニ似
テ頗ル不穩當ナルヲ以テ今宅地ノ二字ヲ加ヘ之ヲシテ明瞭ナラシ

六
ムルハ誠ニ其宜ヲ得タル者ト云ハンカ目下收納ナル文字ニ就キ廿
三番ノ質疑ニ對シテ番外二番ハ該字面ヲ用ヒタルハ敢テ深意アル
ニ非スト説去リテ其要用ナル所以ヲ辨セサリシ此ノ如クンハ第二
讀會ニ至ラハ或ハ前後文字ヲ同ウセントメルカ爲メ收納ヲ徵收ト
改ムル等ノ動議ヲ來サンコトヲ恐ル、ヲ以テ本官ハ此ニ豫メ原案ノ
如クナラサルヘカラサル所以ヲ畧述セントス夫レ徵收トハ上ヨリ
云ヘル言ニシテ今回「收納云々」トアルハ前ニモ陳ヘタル如ク十年
第五十三號布告ノ但書中ニアル文字ヲ直チニ移シ來リタルモノナ
リ且是ハ下ニ令スル辭ナルカ故ニ後ニ徵收トアルモ此ニハ收納ト
爲スヲ當レリトス是レ收納ナル文字ノ變ユヘカラサル理由ニシテ
今之ヲ説クハ時機猶早キニ似タルモ番外二番答辨ノ足ラサル所ア

リシヲ以テ辨此ニ及ヘルナリ各位幸ニ之ヲ諒セヨ
○議長 發議盡キタリト認ルヲ以テ茲ニ第一讀會ヲ畢ル
○番二番 男谷 忠友 引續第二讀會ヲ開カレンコトヲ請求ス
○議長 番外二番ノ請求ニ應シ直ニ第二讀會ヲ開クニ同意者ハ起立
スヘシ

起立者十人

○議長 多數ナルヲ以テ引續第二讀會ヲ開ク

出席 卅二番 鍋島 幹

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十四年二月第十四號布告但書左ノ通改正ス

但市街宅地地租ノ儀ハ該年七月翌年一月兩期ニ其五分宛ヲ收納スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○川二番鍋島 幹 本官ハ病ニ由リ遲參シタルヲ以テ質問ノ期ヲ失セリ

因テ本會ハ第二讀會ナルモ内閣委員ニ對シテ一ノ質疑ヲ爲サントス敢テ議長ニ問フ可ナルヤ否ヤ

○議長 可ナリ

○川二番鍋島 幹 内閣委員ニ問フ案中「市街宅地」トハ市街ノ宅地ナル

カ將タ市街ト宅地ト云フノ意ナルカ

○番二男谷 忠友 目下川二番質疑ノ意ハ本員ニ於テ未タ全ク之ヲ解シ得ス願クハ再ヒ之ヲ質サレンコトヲ

○川二番鍋島 幹 本官質疑ノ意ハ「市街宅地」トハ市街中ニ在ル處ノ宅

地ナルカ將タ市街及宅地ト云フノ義ナルカヲ問フニ在ルナリ

○番二男谷 忠友 聽得タリ「市街宅地」トハ市街中ニ在ル宅地ノ意ナリト知ルヘシ

○川二番鍋島 幹 詳ニ領解セリ然レトモ市街地外ニモ亦宅地ナル者ア

リテ其納稅期限等ハ田畑等ト同一致ナリ因テ案中「市街」ノ下ニ

ノ一字ヲ加ヘ下ノノ儀「ナル」二字ヲ削リテ市街ノ宅地地租ハ該年

七月翌年一月云々ト修正スルヲ可トス幸ニ賛成者ヲ得テ問題トナ

ランコトヲ希望ス

○廿九番林友 幸 本官ハ既ニ本案ヲ完備ナリト思考シタレトモ川二番

ノ修正說ハ一層明瞭ヲ覺フルヲ以テ之ニ左袒ス

○議長 卅二番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十二番 渡邊清 卅二番ニ関フ其修正説ハ「市街ノ宅地地租ハ云々」ト

改ムルノミニシテ下文ハ舊ニ依テ變更セサルカ

○卅二番 鍋島幹 然リ

○廿三番 箕作麟祥 本官ハ現問題ニハ不同意ナレトモ案中他ニ修正ヲ加ヘント欲スル所アルヲ以テ現問題ノ消滅ヲ俟テ其説ヲ提出スヘシ

○議長 廿三番ハ現問題消滅セハ修正説ヲ提出シ可決セハ黙スルノ意カ

○廿三番 箕作麟祥 否其消滅ト否トニ關セス修正説提出ノ意ナリ

○議長 發議盡キタリト認ルヲ以テ決ヲ取シ卅二番ノ修正説ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者三人

○議長 少數ナルヲ以テ卅二番ノ修正説ハ消滅ス

○廿三番 箕作麟祥 本官ハ案中七月ノ下及ヒ一月ノ下共ニ一日ヨリ同三

十一日限ノ十字ヲ加ヘ「兩字」ノ上ニ、「一字」ヲ足シテ該年七月一

日ヨリ同三十一日限翌年一月一日ヨリ同三十一日限ノ兩期ニ其五分宛云々」ト爲スヲ可トス是レ十四年第十四號布告地租徵收期限ニ

モ某月某日ヨリ某月某日限トシテ皆其終始ノ期日ヲ明掲セルニ由テナリ但市街ノ宅地モ亦田畑山林等ト同シク之ヲ表中ニ登録セハ

一層完備ナルヘケレトモ今此修正ヲ爲サントセハ惟第十四號布告ノ但書ノミナラス議案外ナル本文ニ遡リテ之ヲ改メサルヲ得ス而シテ修正此ニ至ラサルモ敢テ支障アルニ非サレハ右但書ノ改正ニ

止メ惟今回改正ノ際一層之ヲ綿密ニシ後段ノ徵收期限ト相照應シテ其體裁ヲ一ニセント欲スルナリ賛成者ヲ得ハ幸甚

○卅一番柴原和

賛成ス修正ノ理由ハ動議者ヨリ縷々説明アリシヲ以テ更ニ辨明ヲ要セサレトモ聊カ賛成ノ旨趣ヲ陳セン本案ハ明治十年第五十三號布告ノ但書ニ宅地ノ二字ヲ加ヘタルニ過キサルナリ蓋シ該字面ハ十四年第十四號布告ヲ以テ地租徵收期限ヲ改定シタル時既ニ之ヲ加フヘキニ當時ニ在テ思念此ニ至ラサリシカ爲メ今之ヲ加フルニ在ルヘシ然ラハ則チ今回改正ノ際一層之ヲ明瞭ニシ且徵收期限ノ文例ト其體ヲ同ウスルヲ可トス論者或ハ云ハン彼ハ二箇月ニ涉ルヲ以テ日子迄掲載シタルモ此ハ一箇月中ニ止マルヲ以テ本案ニテ不可ナシト夫レ然リ然レトモ法文ハ成ルヘク明白ナ

ルヲ崇フニ由リ同シク日子ヲ明載スルニ若カサルナリ

○議長 廿三番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○二番神田孝平

本官ハ本案ヲ不可ナシト思考ス廿三番モ自ラ辨スル如ク今之ヲシテ極メテ説明ナラシメントセハ本文ニ遡リテ修正シ別ニ市街宅地ノ一項ヲ設ケテ之ヲ掲載スルニ如カス又本案ノ如ク只其但書ノ改正ノミニ止メンニハ特ニ修正ヲ加ヘサルモ是レ從前ヨリ履行シテ纖毫モ妨ケナキ者ナレハ本案ニテ不可ナシトス

○十二番渡邊清

本官モ本案ヲ可トス彼ハ地租徵收期限ヲ示ス者ナレハ某日ヨリ某日迄ト掲載スルハ固ヨリ其所ナリト雖モ此ハ市街ノ宅地ニ限ル特別ノ地租上納期ヲ示スニ在リ且既ニ之ヲ布告文ノ但書トシタル以上ハ彼ト其文ヲ殊ニスルモ何ノ不可カ之アラン若シ

又本文ニ遡リ之ヲ修正シテ市街宅地ナル一項ヲ設クルニ於テハ現問題ノ如クスルモ亦可ナリト雖モ已ニ但書ノ改正ニ止ムル以上ハ本案ニテ不可ナキナリ

○卅一番柴原和

本官ハ廿三番ノ動議ヲ賛成セシ者ナリ茲ニ反對論者ノ旨趣ヲ案スルニ現問題ノ如ク爲スニ於テハ宜ク別ニ市街宅地ノ一項ヲ設クヘシ否ヲサレハ但書ノ性質ニ悖戾セリト論シテ之ヲ却クル者ノ如シ若シ單ニ現問題ノ如ク修正セサルモ分明ナレハ本案ニテ不可ナシト云フノ説ナレハ或ハ聞クヲ得ルモ前述ノ如キ理由ヲ以テ駁斥スルニ至テハ之ニ甘從スル能ハサルナリ蓋シ本案ノ如ク該年七月翌年一月トアルハ共二月首ヨリ月末迄ノ意ニシテ他ノ月日ニ渉ル如キ憂ハナカルヘシト雖モ法文ハ成ルヘク明瞭ナルヲ

欲スルニ由リ之ヲ修正スルニ如カサルナリ

○廿三番箕作麟祥

某議官ハ本案ハ十年第五十三號布告ノ但書ヲ移シ來リテ之ニ宅地ノ二字ヲ加ヘタルニ過キサレハ特ニ修正ヲ加ヘスシテ可ナリト論スレトモ若シ他ヨリ移シ來ルヲ以テ文字ヲモ改ムヘカラストセハ惟明治十四年第十四號布告但書市街ノ下ニ宅地ノ二字ヲ追加スレトノ單簡ナル布告ニシテ足レリ何ソ必シモ本案ノ頒布ヲ須ヒンヤ畢竟本案ヲ頒布スルハ該布告ノ分明ナラサルカ爲メ他ノ法律ニ據ラス特ニ本案ノミニシテ市街宅地ニ係ル地租收納期限ヲ示サントスルニ在レハ寧ロ明カニ某日ヨリ某日限ト其期日ヲ掲載スルニ若カサルナリ但市街ニモ宅地アリ又田舎ニモ宅地アルヲ以テ市街ノ宅地ハ云々田舎ノ宅地ハ云々等ト詳ニ之ヲ表中ニ登錄

スルカ如キハ固ヨリ望ム所ナレトモ是等ハ姑ラク擱ギ本官ハ今此但書改正ノ時ニ際シ期日ヲモ明掲シ之ヲシテ一層完備ナラシメント欲スルニ在リ要スルニ一法律中甲ハ詳明ニシテ乙ハ疎畧ナルハ平均ヲ失スルヲ以テ之ヲ改メント云フニ外ナラサルナリ

○二番^{神田 孝平}

廿三番ハ云ク十四年第十四號布告ノ但書ニテハ分明ナラサルカ爲メ今此改正ヲ爲スニ在レハ此時ニ於テ收納期日ヲモ掲載スヘシト是ニ由テ之ヲ察スレハ其意タル該年七月翌年一月云々ノ文字ハ今回新タニ加ヘタル者トスルカ如シ然レトモ右第十四號布告但書中「地租ノ儀ハ従前ノ通タルヘシ」トアリ此従前ハ則チ十年第五十三號布告ノ但書ヲ謂フニ在リ而シテ該但書ハ本案ト全ク同一ニシテ惟宅地ナルニ文字ナキノミ且己ニ五拾三號但書ノ文面ニ

テ久シク履行シ來リ而シテ今日ニ至リタルモ未タ期限ニ差障アルコナシ故ニ本官ハ本案ニテ不可ナシト論スルナリ但本文ニ遡リ市街宅地ノ一項ヲ設クルカ如キハ別論ナレハ更ニ其說ヲ提出スル者アルニ於テハ或ハ之ニ左袒スルモ知ルヘカラス然レトモ現問題ニ對シテハ前說ノ如キ理由ナルヲ以テ之ニ同意スル能ハサルナリ

○廿三番

^{箕作 麟祥}

該年七月翌年一月等ノ文字ハ十年第五十三號布告ノ但書ニ出テタルハ本官ノ固ヨリ領知スル所ニシテ本官ハ之ヲ知ルヲ以テ特ニ此修正說ヲ提出シタルナリ論者若シ舊ニ依リ之ヲ更ヘスシテ明瞭ナリト云フニアラハ前ニ論シタルカ如ク市街ノ下ニ宅地ノ二字ヲ追加ストノ單簡ナル布告ニ止メテ可ナリ何ソ再ヒ是ノ如キ重複ヲ要センヤ既ニ宅地ナル字面ノ追加ヲ要スルト同シク今

又同一ノ但書ヲ要スル以上ハ前後體裁ヲ同ウスルカ爲メ現問題ノ如ク某日ヨリ某日限ト明掲スルニ如カサルニアラスヤ之ヲ要スルニ本官ノ意ハ該年七月翌年一月等ノ文字ハ固ヨリ今回新タニ加ヘタル者ト思考セサレトモ従前ノ如クニテハ不明瞭ナリトシテ今之ヲ改メント云フニアラハ寧ロ現問題ノ如ク一層其改正ヲシテ周到ナラシメント欲スルナリ

○十二番渡邊清 本案ノ不可ナキ理由ハ既ニ二番ノ辨明ニ盡キタレハ之ヲ擱キ特ニ廿三番ノ論說中本官ノ認テ以テ奇異ナリト考フル者ヲ擧テ之ヲ辨セン同議官ハ若シ論者ノ云フカ如クンハ惟宅地ノ二字ヲ追加スルノミニテ足レリト論スレトモ茲ニ十四年第十四號布告ハ十年第五十三號布告ノ改正ニ係レリ廻テ該第十四號布告但書

中市街ノ下ヘ宅地ノ二字ヲ追加シテ「市街宅地ハ従前ノ通タルヘシ」ト爲サンニハ十年第五十三號布告ニ市街宅地ノ明文ナカルヘカラス然ルニ同布告中一モ其明文ヲ掲ケタル者ナシ之ヲ如何ソ得テ従前ノ通云ヤト云フヘケシヤ是レ本官ハ廿三番ノ說ヲ目シテ奇ト爲ス所以ナリ且ヤ本案ノ如キハ從來既ニ實行シテ支障ナキ者ナレハ今時ニ修正ヲ要セサルナリ

○議長 發議盡キタリト認ルヲ以テ決ヲ取シ廿三番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ廿三番ノ修正說ハ消滅本案ニ決シ茲ニ第二讀會ヲ閉ツ

○番二番男谷 引續第三讀會ヲ開カレンコトヲ請求ス

○議長 番外二番ヨリ引續第三讀會ヲ開クノ請求アリ之ヲ許容スルニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十一人

○議長 多數ナルヲ以テ引續第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十四年二月第十四號布告但書左ノ通改正ス

但市街宅地地租ノ儀ハ該年七月翌年一月兩期ニ其五分宛ヲ收納スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ茲ニ第三讀會ヲ畢ル例ニ遵ヒ決議ノ旨ヲ具シテ上奏スヘシ散會セヨ

午前第十一時閉場

元老院會議筆記明治十五年五月十五日

○第三百二十四號議案

明治十四年第二拾九號布告農商工諮問第
會規則ヲ廢シ勸業委員規則制定ノ儀

一讀會

議長代理
佐野常民

出席議員

- | | |
|----|-------|
| 一番 | 本田親雄 |
| 二番 | 神田孝平 |
| 四番 | 稅所篤 |
| 五番 | 關口隆吉 |
| 七番 | 伊集院兼寬 |
| 八番 | 大久保一翁 |

- 九番 津田 眞道
- 十二番 渡邊 清
- 十三番 岩下 方平
- 十五番 津田 出
- 十六番 伊丹 重賢
- 廿一番 楠本 正隆
- 廿二番 野村 素介
- 廿三番 箕作 麟祥
- 廿五番 東久世通禧
- 廿六番 榎村 正直
- 廿九番 林 友幸

- 三十番 海江田信義
- 卅一番 柴原 和
- 卅二番 鍋島 幹
- 内閣委員番外二番 參事院議官補落合 濟三

午前第十時七分開場

○議長 第三百二十四號議案ノ第一讀會ヲ開ク各位例ニ遵ヒ發議ス
ヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十四年五月第貳拾九號布告農商工諮問會規則ヲ廢止シ更ニ勸業
委員規則左ノ通制定ス

勸業委員規則

第一章 府縣勸業委員

第一條 各府縣ニ農商工ノ勸業委員ヲ置ク

第二條 府縣勸業委員ハ左ニ記載スル事業ノ獎勵ニ從事シ及

漸次改進ノ目途ヲ立ルノ任アルモノトス

一 海陸運漕ノ利害ニ關スル事件

二 道路港灣ノ開鑿修築ニ關スル事件

三 河川溝渠用惡水路疏通ノ事件

四 惡蟲及有害鳥獸驅除ノ事件

五 動植物蕃殖及改良ノ事件

六 山林栽培及保護ノ事件

七 農商工事統計ノ事件

其他農商工業上ノ利害ニ關スル事件

第三條 府縣勸業委員ハ農商工業上ノ通信事務ニ從事スヘシ

第四條 府縣勸業委員ハ其府縣内ニ滿三年以上本籍寄居住居ヲ問ハス

シニ拾五歳以上ノ男子ニシテ農商工業上ニ就キ名望アル者ノ

中ヨリ府知事縣令若干名ヲ選任シ其任期ハ一箇年トス但滿期

再選スルヲ得

第五條 府知事縣令ハ府縣勸業委員ヲ甲乙ニ區分シ甲ハ平常

ノ事務ト諮問會ノ事務ヲ擔任セシメ乙ハ諮問會ノ事務ノミヲ

擔任セシムルヲ得

第六條 府縣勸業委員ヲ甲乙ニ分チタル場合ニ於テ甲ハ年手

當及旅費日當乙ハ旅費日當ノミヲ地方稅中勸業費ヨリ給ス其額ハ府縣會ノ議定ニ依ルヘシ

第七條 第二條ノ事件ニ關シ府知事縣令若クハ農商務卿ニ於テ諮問ヲ要スル時ハ農商工ノ一部若クハ聯合部ノ諮問會ヲ開クヘシ

勸業委員三分一以上連署シテ開會ヲ要スル時ハ府知事縣令ニ於テ諮問會ヲ開クヲ得

第八條 府縣勸業委員ハ諮問會員タルヘシ
諮問會ノ會長ハ府知事縣令若クハ其代理人之ヲ勤ムヘシ
諮問會ノ書記ハ府知事縣令其屬官中ヨリ之ヲ命スヘシ

第九條 府縣ノ官吏府知事縣令ノ許可ヲ得タルモノ及農商務

省ノ官吏農商工上等會員ハ諮問會ニ列シテ意見ヲ述フルヲ得但起立ノ數ニ入ラス

第十條 諮問會ノ雜費ハ府縣廳費ヨリ之ヲ支辨スヘシ

第十一條 府縣勸業委員ノ處務規程及諮問會議事細則ハ府知事縣令之ヲ定メ農商務卿ノ認可ヲ請クヘシ

第二章 區町村勸業委員

第十二條 區町村及聯合區町村ニ勸業委員ヲ置クヲ得區町村及聯合區町村勸業委員ハ府縣勸業委員ヨリ之ヲ兼ヌルヲ得

第十三條 區町村及聯合區町村勸業委員ノ人員處務規程選舉方法及任期等ハ總テ其區町村會又ハ聯合區町村會ノ決議ヲ經

テ府知事縣令ノ認可ヲ請クヘシ

第十四條 區町村及聯合區町村ノ勸業委員旅費日當額ハ其區町村會及聯合區町村會ノ決議ヲ以テ協議費ヨリ之ヲ支辨スル
トヲ得

第十五條 區町村及聯合區町村ニ於テハ協議費ヲ以テ農談會
商法會議所工業會若クハ農商工ヲ併セテ一ノ勸業會ヲ設立シ
其區町村及聯合區町村内ノ勸業委員ヲシテ會員タラシムル
ヲ得

一 各會ハ其業務ノ利害ヲ講究シ及戸長郡區長若クハ府知事
縣令及農商務卿ヨリ諮問スル事件ヲ審議シ其意見ヲ開申スヘ
キモノトス

二 各會ハ其業務ノ利害ニ關スル事件ニ就キ府知事縣令及農
商務卿ヘ建議スルヲ得

三 各會ノ議事細則ハ其會之ヲ創定シテ府知事縣令ノ認可ヲ
請クヘシ

右奉 勅旨布告候事

○番二番落合外 現行農商工諮問會規則ヲ廢シテ本案ヲ制定スル所以
ノ大要ヲ述ヘントス抑各地農商工ノ實況ヲ視察シテ勸業ノ事務ヲ
着實ナラシメ倍々其改進ヲ圖ランカタメ農商工諮問會規則ヲ制定
シテ之ヲ布告セラレシハ實ニ去年五月廿三日ナリ爾來日猶ホ淺ク
未タ實施ニ至ラスト雖モ各地人民ノ景況ヲ察スルニ其實施ニ就キ
種々ノ支吾ヲ知ル故ニ去年各地方官ノ上京ニ際シ農商務卿ヨリ試

ニ之ヲ諮問セシニ各々漸次ニ意見書ヲ上申シタリ此意見書タルヤ其執ル所ノ説ハ多少ノ差異アリト雖モ要スルニ三類別ニ外ナラス乃チ現行法ニテ支障ナシト云ヒ現行法ヲ修正スヘシト云ヒ現行法ヲ廢棄スヘシト云フニアリテ之ヲ細別スレバ現行法ニテ支障ナシト云フ者九縣之ヲ修正スヘシト云フ者二府十五縣ニシテ其他ノ府縣ハ皆廢棄ノ意見ナリ仍ホ是等ノ意見ヲ以テ其實施ニ支障アル理由ノ大要ヲ述フレハ第二條ニ「農商工諮問會ハ云々併セテ農商工ノ盛衰其他ノ統計ヲ調査スルノ任アルモノトス」トアリ蓋シ統計ヲ調査スルハ決シテ容易ノ業ニアラス其五名以上十五名以下ノ僅々タル少員ニシテ特ニ俸給ナキモノニ於テ決シテ之ヲ爲シ得ヘキトニアラス況ヤ開會中ハ互ニ審議シテ調査スルコトアルヘキモ一旦閉

會スルルハ各離散スルヲ以テ之カ調査ニ由ナキニ於テヲヤ又第三條ニ「會員ハ云々二十五歳以上ノ男子ニシテ名望アル農商工五名以上十五名以下ヲ選ンテ之ニ任ス云々」トアリ此人員ニテハ寡少ナレハ到底諮問スルモ其効能ナキノミナラス其選任モ此制限アルルハ均ク名望アルモノニシテ甲ハ舉ケラレ乙ハ舉ケラレサルノ遺憾アリ第八條ニ「會議ハ多數ニ決ス可否半ハスルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル」トアリ蓋シ此會ハ元ト諮問ニ出ルモノナレハ之ヲ決議會ノ性質トスルトキハ反テ其好結果ヲ得サルヘシ第九條ニ「會員ハ旅費日當ヲ給ス其額ハ該府縣會議員ト同一タルヘシ」トアリ惟フニ府縣會議員ハ投票選舉ニ成テ租稅徵收等ヲ議スルノ重任アル者ナリ此重任アルノ議員ト諮問會員トノ手當ヲ同一ニスルハ頗ル其權衡

ヲ得サルナリ第十一條乃至十九條ノコトハ各地共ニ從來商法會議所農談會等ヲ設立シテ勸業ノ便宜ヲ圖レリ然ルヲ此畫一ノ法ヲ布クトキハ既ニ成立スル所ノ商法會議所農談會等ニ影響ヲ與ヘテ並行スルコト能ハサルニ至ルナリ去年第廿九號ノ布告ヲ實施スルニ困難ナルハ是等ノ理由アルヲ以テナリ然レモ勸業ノ事務ヲ着實盛大ナラシムルハ今日ノ急務ニシテ一日モ忽カセニスヘカラサル者ナリ然ラハ則之ヲ實施スルノ難易ハ其方法ノ如何ニ存スルナリ由是觀之ハ諮問會規則ヲ廢セン乎勸業ノ目的ヲ達スル能ハス將タ諮問會規則ヲ必行セン乎膠柱鼓瑟ノ恐アルヲ如何セン然ラハ則チ之ヲ爲ス如何曰ク地方官ノ意見ヲ參酌折衷シテ適當ノ法律ヲ作ルニアルノミ本案ノ成ルハ則チ其意此ニ在リ此案ノ如クシテ始メテ便

宜事ヲ處シ勸業ノ目的ヲ達スルヲ得ヘシ且勸業委員ハ敢テ今日之ヲ新置スルニアラスシテ其實ハ從來各地共ニ每郡區ニ若干人ノ勸業報告委員勸業掛リ等アリテ勸業ノ事務ヲ負擔セリ是素ヨリ法律ノ定ムル所ニハアラサルナリ而シテ他ノ學務委員衛生委員等ハ法律ヲ以テ之ヲ定メテ各其事務ヲ行ハシム是レ均ク要務タルモノニシテ獨リ勸業委員ヲ法律外ニ置クハ頗ル權衡ヲ失フ者ナラスヤ故ニ學務委員衛生委員ト同ク從來現立スル所ノ勸業掛リ等ノ人ヲ以テ勸業委員トナサハ他ノ委員ト并行シ大ニ地方ノ便宜タルヘシ又區町村ニアル所ノ農談會員等ヨリモ此委員ヲ選任セハ益々可ナルヘシ是レ獨リ細カニ勸業委員ノ設置ヲ説ク所以ナリ餘ハ質疑アラハ從テ答ヘン

○卅一番柴原和

内閣委員ノ辨明ハ之ヲ了解ス其言ニ云ク現行法ハ未
 タ實施ニ至ラス去年地方官上京ニ際シ農商務卿ヨリ諮問セシ事項
 ニ對シテ各地方官ヨリ上申シタル意見ヲ參酌シテ本案ヲ制定セリ
 ト内閣委員ノ云フ如クンハ地方官ハ敢テ實施シテ障礙アリト云フ
 ニアラスシテ之ヲ實施セハ障礙アルヘシト云フノ速了ニ出タル者
 ナリ其現行法ヲ實施シテ障礙ナシト云フ地方官モ亦地方議會ニ可
 否ヲ問フテ然カ云フニアラサルナリ又現行法第二條第三條ヲ不可
 トセリ其然リ其第三條ノ如キハ實ニ奇異ナル法律ニシテ俸金ヲ給
 セス地方官ノ事務ヲ分任セシムルハ理ナキノ事ナリ然ルニ内閣委
 員ハ本案ノ如ク改正セハ實施ニ障礙ナカルヘシト辨スレトモ本官
 ハ本案ノ如クセハ却テ倍々實施ニ障礙アルヘキヲ信ス何トナレハ

府縣會ハ地方ノ經費ヲ議スルニ止マリテ敢テ事件ニ議及スルヲ得
 サルノ規則ナリ是ヲ以テ人或ハ云ク經費ヲ議シテ事件ヲ議スル能
 ハサルハ不可ナリト乃チ地方ニ重任アル地方議會スラ事件ヲ議及
 スル能ハサルナリ内閣委員ノ現行法第九條ヲ引テ諮問會員ト地方
 議員トノ旅費日當ヲ同一ニスルハ輕重ヲ過テリト云フハ蓋シ兩員
 性質ノ輕重ヲ云フニアラン本案第二條中第七項ニアル「農商工事統
 計ノ事件」トハ即チ現行法ノ第二條ト同一ナリ其次項ノ「其他農商工
 業上ノ利害ニ關スル事件」トアルモ亦漠然タルモ頗ル重任ナルカ如
 シ是等重大ノ事件ヲ議シテ地方官若シ其議決ヲ可ナリト思考セハ
 議案トナシテ地方議會ニ下付スルヤ必セリ由是觀之ハ此會員ハ却
 テ其根源ヲ議スルノ職ニシテ其任モ亦地方議會ニ比スレハ重シト

謂フヲ得ヘシ若シ夫レ地方官ニシテ勸業委員ノ議決スル所ノ案ヲ可トシ遂ニ議案トシテ之ヲ地方議會ニ付シ議會ハ此案ハ勸業委員ノ調査スル所ナリ彼何ソ此事ヲ知ランヤト云フテ抗擊セハ忽チ議會ノ紛議ヲ招キ却テ大害ヲ來タスノ基トナルヘシ畢竟內閣委員ハ現行法第九條ヲ引テ勸業委員ハ地方議員ニ比スレハ其任輕シト明言シ而シテ此重大ノ事ヲ執ラシメントスルハ何ソヤ蓋シ是等ノ點ハ農商務卿ヨリ詳ニ地方官ニ問ヒシナルヘシト信ス而シテ地方官ハ之ニ答フルニ如何ノ辨解ヲ以テセシヤ內閣モ亦此點ニ付テハ何ノ見解アルヤ又地方議員ハ郡區ヲ分テ之ヲ公撰スルヲ以テ偏輕偏重ナシト雖モ本案ノ第四條ハ地方官ノ專任スル所トナレリ各地農事通信掛リノ如キモ法律ヲ以テ之ヲ示サ、ルモ大抵地方官ヨリ管

内ニ達シテ公選トセリ然ルニ現行法ハ勿論本案モ亦官選トセリ果シテ此ノ如クンハ地方官ハ元ヨリ私意ナカルヘキモ噲ヘハ東京府ハ十五區六郡中ヨリ該委員ヲ選拔セスシテ京橋區ノミヨリ十五名ヲ選拔セサルヲ保スヘカラサラン蓋シ本案ノ選舉區ヲ限ラサルハ獨リ何ソヤ現行法第八條ハ至當ノ法ナリ苟モ諮問會ヲ開クニ決議ナクンハ之ヲ開クモ益ナキナリ決議シテ農商務省ニ上申シ上等會員會議ノ議案トナルコトモアラハ大ニ彼我ノ注意ヲ促スコトアルヘシ本案ノ決議ヲ止ムルハ單ニ諮問ノ二字ニ拘泥スルニアル乎第六條ニ「府縣勸業委員ヲ甲乙ニ分チタル場合ニ於テ甲ハ年手當及旅費日當乙ハ旅費日當ノミヲ地方稅中勸業費ヨリ給ス其額ハ府縣會ノ議定ニ依ルヘシ」トアリ今地方稅中ヨリ此經費ヲ出サシメジトセ

ハ異論アルヤ必セリ知ラス農商務卿ノ地方官ニ諮問セシキニ此事ニ付テハ議論ナカリシ乎官撰ヲ以テ隨意ニ地方官ノ事務ヲ分擔セシムルノ性質アル者ニ地方税ヲ給スルコト能ハスト論セシ地方官ハアラサリシ乎一體府縣會規則ヲ放任主義ニシ本案ヲ干涉主義ニスルハ本官等ノ取ラサル所ナリ是ヲ以テ本官ハ之ヲ廢案セント欲スルノ意アリト雖モ蓋シ本案ノ成ルハ大ニ參酌スル所アリト云フヲ以テ之ヲ見レハ亦容易ニ廢案論ヲ唱フル能ハサルニヨリ質問スルコト此ノ如シ猶辨解ヲ聞テ見ル所アラハ第二讀會ニ至テ大ニ修正說ヲ提出セント欲ス

○外番二番 落合濟三 川一番ノ疑問ニ答ヘン云ク現行法ノ第二條ハ實際施行ニ難ムト云フテ此第二條ニ改ムルトスルモ其難易ハ新舊共ニ同

一ナリト云フニアリ案スルニ現行法第二條ハ「云々其他ノ統計ヲ調査スルノ任アル者トス」トアリ既ニ「任アルモノトス」トアル以上ハ此諮問會員ハ必ス實際調査シテ施行セサルヘカラサルナリ豈俸給ナキ寡少ノ人員ニシテ此重任ニ堪ユヘケンヤ本案第二條ハ縦ヒ八項ヲ掲クト雖モ「事業ノ獎勵ニ從事シ及漸次改進ノ目途ヲ立ルノ任アルモノトス」トアルヲ以テ即チ周旋人ノ如キ者ナリ決シテ現行法ノ如ク實際ヲ調査シテ統計表ヲ作ル等ノ事ニアラス唯奔走シテ說諭獎勵シ改進ノ目途ヲ立テ且諮問會ヲ開クニ方テノ相談人トナルニ外ナラサルナリ卅一番ハ地方議會ハ地方ノ經費ヲ議決スルニ止マリテ事件ニ議及スルヲ得サルニ勸業委員ノ事件ニ議及スルヲ得ルハ何ソヤトノ間アリ是亦決シテ卅一番ノ云フ如キ者ニアラスシテ

即チ地方官ノ相談人ナリ勿論第二條中ニ列記セル八項ハ頗ル要件ノミナリト雖モ要スルニ其目的ハ前ニモ述シ如ク地方官ノ相談人ナレハ其精神ハ大ニ現行法ト異ル所アルナリ又第四條ニ付テノ間ニ地方議員ハ各郡區ヨリ平均ニ公選スルヲ以テ偏頗ナシト雖モ本案ハ地方官ノ專選ナルヲ以テ或ハ濫選ナキヲ保タストノコトナレトモ「名望アル者」ノ中ヨリ「トアリテ」乃チ名望アル者ヲ要點トスル者ナレハ每郡區必ス二三ノ名望家アルヲ保セサルヘシ是レ郡區ニ限員セサル所以ナリ又多數議決ノコトニ關スルノ間アレトモ是亦諮問ヲ主トシタル者ニシテ議決ヲ主トセサルニ由リ相談シテ多數ノ說ニ決スル乎否ヲサル乎何レニテモ唯其意見ヲ聞クニ止リ之ヲ取捨スルハ農商務卿若クハ地方官ノ心中ニアリ故ニ強テ多數議決ヲ要

セサルナリ良シヤ多數議決トスルトモ其取捨ハ亦官ニ在ルモノナレハ終ニ其功ナキナリ又旅費日當ノ間ニ答ヘンニ昨年現行法ノ布告アルヤ既ニ地方議會終ルノ際ナリシヲ以テ今年ノ會議ニ付シ其議決如何ハ未タ計ルヘカラサレトモ苟モ法律ヲ以テ定ムル所ノ旅費日當ナレハ之ヲ地方議會ニ付スルニ其費額ニ至テハ多少ノ論アルヘキモ漫ニ之ニ抗拒シ諮問會員ニハ日當等ヲ與フルヲ要セストハ云フヘカラサルナリ蓋シ地方勸業上ノ事ニシテ地方ノ便益ヲ圖ル爲メノ事ナレハ官選公選ヲ問ハス地方稅中ヨリ之ヲ出スニ何ノ不可カ之アラシヤ況ヤ現ニ勸業ノ事ニ就テハ其實例アルニ於テヤ

○卅一番柴原和

辨明ヲ得テ了解シ了解シテ益疑惑ヲ生セリ内閣委員

ノ勸業委員ハ第二條諸項ノ事件ヲ議スルノミニシテ實際事業ヲ取扱フニアラスト云フハ實ニ然ラン然ルニ第五條ニ云々甲ハ平常ノ事務ト諮問會ノ事務ヲ擔任セシメ云々トアリ其所謂平常ノ事務トハ何事ナルヤ初メ本官ハ意ヲク甲八年手當ヲ受クル者ナレハ勸業掛リ同様ナルヲ以テ第二條諸項ノ事ニ就キ日々管内ヲ巡察シテ勸奨説諭ノ事ニ從事スヘシト今内閣委員ノ辨明ヲ聞ケハ之ニ異ナリト云フ故ニ問フ平常ノ事務トハ何事ナルヤ又事稍理論ニ涉レトモ内閣委員ハ現行法ヲ廢セント欲スレハ勸業ノ目的ニ背キ廢セサレハ實際ニ支障アルヲ以テ彼此ヲ斟酌折衷シテ夫ノ學務委員衛生委員ト同一並行シテ權衡ヲ保タシメント欲シ以テ本案ヲ制定セリト其所謂學務委員衛生委員ト同一ニ並行シテ權衡ヲ保タシメント云

フハ何事ソヤ學務ノ事ハ文部ノ主ル所ニシテ人々個々一身ヲ立ルノ教育ヲナスモノニシテ衛生ノ事モ亦一身ノ健康ヲ保ツノ少事ナリ此少事ト相比スルモノニシテ第二條項ノ陸海運漕ノ利害ニ關スル事件等ヲ議スルノ大事ト同一視スルハ何ソヤ

○番二番落合外二番濟三 第五條ノ所謂平常ノ事務トハ第二條諸項ノ事ニシテ

即チ卅一番述フル如ク或ハ入テ管廳ニ議シ或ハ出テ、地方ニ奔走説諭スル等ノ事務ナリ是年手當旅費日當アル所以ナリ夫ノ勸業委員ヲ學務委員衛生委員ト同一ノ者タルヘシト云ヒシハ現ニ行政上ノ法律ヲ以テ學務委員衛生委員ヲ置キ而シテ勸業委員ヲ置カサルハ不權衡ナルヲ以テナリ勿論衛生ハ一身ヲ保護スルノコト學問ハ一身ノ智識ヲ擴ムルコトナリ然レトモ勸業モ亦社會上ノ大要事ナ

レハ其關係ハ却テ學問衛生ヨリモ大ナル者ナリ但勸業ノ事モ亦細論スルトキハ一身上ノ利害ニ關スルアルヘシ本官ハ敢テ學問衛生ト輕重ナシト謂フニアラサルナリ若シ夫レ此輕重ノ論ニ至テハ議案外ナルヲ以テ強テ辨セサルノミ

○廿三番 纂作
麟祥

本官ハ問答ヲ聽テ本案ノ要旨ヲ了解セリ抑現行法ノ布告ハ去年ノ五月ニ在テ本院ノ檢視ニ付セラレシ者ナリ當時本官ハ其不可ナルヲ知リシト雖モ檢視會ノ規則ニ遵ヒ己ヲ得ス默過セシニ今本案ノ下付ニ逢ヒ欣喜ニ堪ヘサルナリ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ甚々本案ノ意ヲ得サルナリ現行法モ亦然リ何トナレハ本案現行法共ニ其意ヲ叩ケハ都會ヨリ町村ニ至ルマテ悉ク勸業ノ目的ヲ達セント欲スルニアルヲ以テナリ然レモ顧慮スルニ現ニ農商務省ア

ルトキハ豈此ノ如ク細密ニ渉ルヲ須ヒンヤ我邦十五年來頻ニ進テ取ル所アラント欲シ却テ失敗ヲ招クコトナキニアラス今日此財政困難ニ陥リシモ此ノ急進ノ致ス所其一因ニ居ルヘシト信ス勿論勸業ハ美事ナリト雖モ既ニ農商務省アリテ全國ノ勸業法ヲ總轄セハ何ソ各地ニ此畫一ノ法ヲ布クヲ用ヒンヤ況ヤ地方官其委員ヲ選任シテ俸金ヲ地方稅ヨリ給スルハ恰モ縣官ノ給料ヲ地方稅ヨリ給スルニ均シキモノナルヲヤ近來各地共ニ公選官吏論盛ナリ此際ニ於テ勉メテ勸業委員ヲ官選スルハ大ニ民情ヲ激動センコトヲ恐ル而シテ其指任スル所ハ名望家ナリト云フモ地方官ノ指シテ名望家トスル者ハ焉ソ知ラン他ノ指シテ不名望家トスルノ人ナルコトヲ現ニ地方ニテ人民ノ好ミニ從ヒ法律外ニ勸業用掛リ等ヲ置ク如キハ固

ヨリ不可ナキモ各地ニ多人數ノ勸業委員ヲ置テ之ニ地方税ヲ給スルハ實ニ要用ニアラサルナリ彼ノ止ムヲ得サル刑法治罪法ノ如キハ新ニ制定スヘキモ其止ムヲ得ルノ法律ハ止ムニ如カサルナリ有名ナル我御雇教師某ノ語ニ云ク日本ハ近時立ル所ノ法律ハ社會ヲ制センカ爲メニアラスシテ法律ヲ制センカ爲メニ法律ヲ制スト此誹謗ノ語ヲ招クモノハ本案ノ如キ法律ヲ制定スルニ由テナリ内閣委員ノ辨明中ニ地方官中現行法ヲ廢止スルノ意見ヲ上申セシ者アリト云ヘリ本官等ヲ以テ之ヲ見レハ現行法ヲ廢止スヘシトセシ地方官ハ實ニ其當ヲ得タルノ牧民官ナリトシテ贊頌セサルヘカラサルナリ是等ノ理由ナルヲ以テ些細ノ條項ヲ論セス本官ハ先ツ本案ヲ廢シ尋テ現行法ヲ廢セント欲ス否現行法ヲ廢スルニアラス則チ本

案ヲ修正シテ布告案明治十四年五月二十九號布告農商工諮問會規則ヲ廢止ス右奉勅旨布告候事トナサント欲スルナリ

○廿一番楠本正隆

本官モ各位ノ討論ヲ聽テ疑團ヲ解キシヲ以テ第一讀會ノ規則ニ由リ大體論ヲ述ン抑現行法實施ノ如何ヲ考ヘ且内閣委員ノ辨明ヲ聞クニ現行法實施ノ地方ハ至僅ニシテ實用ニ適セサルヲ以テ此案ヲ制定セリト惟フニ現行法ハ高尚ニ失シテ地方ノ人心ニ適セサル乎將タ時機未タ熟セサル乎ヲ推考スルトキハ蓋シ高尚ニ失スルヲ覺フ本案モ其主義ハ地方官ノ顧問タルヘキ勸業委員ヲ置キ全國畫一ノ法ヲ布カントスルニ至テハ恰モ現行法ト異ナルコトナシ故ニ既ニ現行法行ハレサルニ方リ少シク方向ヲ變シテ此案ヲ布カントスルハ同ク徒爾ニ屬スルナルヘシ某議官ハ廢案論ヲ吐

ケリ然レトモ現行法ヲ基本トスル法案ヲ廢スルトキハ現行法ノ不
 完全ヲ不問ニ置クノ嫌ヒアリテ甚タ不深切ナリ若シ夫レ現行法ヲ
 併セテ之ヲ廢セントセハ農商務省ハ何ノ爲メニ必要ナルヘキヤ抑
 モ該省ノ設アルハ決シテ好事ニ出ルニアラサルナリ凡ソ人事ハ統
 計ヲ明ニセサレハ事業ヲ興ス能ハス商賣ヲナス能ハサルナリ蓋シ
 統計ノ事タルヤ各地方官共ニ之ヲ調査スレトモ實際密ニ渉ル能ハ
 ス故ニ統計ノ事ヲ調査シテ地方官ノ顧問タルヘキ者ヲ置カサル能
 ハサルナリ是ヲ以テ本官ハ第二讀會ニ至ラハ修正說ヲ提出セント
 欲ス何トナレハ現行法ハ高尚ニシテ地方ノ人心ニ適セス本案ハ亦
 畫一法ニシテ地方ノ便宜ニ任スル能ハサルヲ以テナリ今本官ノ意
 ヲ撮述セハ各地方ノ處分法ハ其適宜ニ任シ法律上只大綱ノミヲ示

シテ一切畫一ノ法ヲ取ラサラント欲スルノミ現ニ各地ニ農談會等
 アリト雖モ官ト密着ノ法ナキヲ以テ官ハ其報告ヲ促ス能ハス又諮
 問ヲ爲ス能ハサルヲ患フルナリ故ニ地方ノ適宜ニ任スルハ事稍緩
 慢ニ似タルモ今日ノ進度ヲ以テ之ヲ見ルトキハ却テ實際ニ切ナリ
 而シテ此ノ如クシテ漸ク進行セハ遂ニ高尚ナル法律ヲ布クノ日ニ
 達スヘシト信ス又其費用ハ地方稅之ヲ負擔スルハ當然ナリ而シテ
 十四年ニ地方稅中ニ勸業費目アルヲ以テ勸業委員ノ給料モ此費目
 中ヨリ給スルモ或ハ可ナリ又更ニ費目ノ一項ヲ地方稅中ニ加フル
 モ可ナランカ

○三十一番柴原和

本官ハ内閣委員ニ質疑スルニ際シテ第二讀會ニ至
 ラハ廢案說ヲ提出スルコトアルヲ期セスト預陳セシニ廿三番廿一

番ヨリモ稍同感ノ説ヲ發セリ惟フニ府縣會規則ハ彼ノ如ク放任シ
 本案ハ此ノ如ク干涉スルハ其意ヲ得サルナリ然ラハ則チ本案ヲ廢
 セン乎先ツ現行法ヲ廢セサルヘカラス之ヲ廢セントセハ意見書ヲ
 呈スルニアラサレハ能ハサルナリ是ヲ以テ本官ハ今廿一番ニ同シ
 キ感情ヲ起セリ各地方官ノ現行法ヲ廢止セント云フ者モ亦未タ之
 ヲ實施セスシテ唯想像ヲ陳セシノミ然ルニ現行法タル去年五月ニ
 布告シテ今忽チ之ヲ廢止スルハ蓋シ朝令暮改ノ誹ヲ免ルヘカラス
 故ニ本案ヲ修正スルニアラスシテ現行法ヲ改正スルノ目的ヲ以テ
 之ヲ改良シ而シテ實施シテ果シテ障礙アリトセハ其障礙アルニ會
 テ始メテ之ヲ廢スヘキナリ此ノ如ク論セハ議者或ハ云ハン果シテ
 試驗法ノ如キ法律ヲ布シヨリ寧口止ムニ如カスト其レ然リ一方ヨ

リ見ルルハ論者ノ言ノ如クナルヘキモ他ノ一方ヨリ之ヲ見ルルハ
 或ハ之カ爲メニ人民便宜ヲ曉ルコトアラシ現ニ官撰ニアラスシテ各
 地種々ノ名目ヲ以テ農事通信掛リ等ヲ置ケリ本官ノ地方ニ在リシ
 日ハ是等ノ人ヲ公選ニ付シタリ聞ク地方ニヨリテハ又官選ニ成ル
 者アリト本官ハ本案第一二條共ニ現ニ下付議案民事關席裁判規則
 ノ如キ文例ニ倣フテ畫一ヲ弛メテ勸業委員ヲ置クコトヲ得ト云フ
 如キ文法トナサント欲ス其レ此ノ如クンハ地方ニヨリ時機尙早ト
 思ハ、置カサルモ可ナリ而シテ布告案ハ明治十四年第二拾九號布
 告農商工諮問會規則左ノ通改正ス「トナサハ可ナラン其詳細ハ第二
 〇讀會ヲ待テ論到セン又或ハ全部付託修正委員ヲ選定シテ現行法ヲ
 修正セハ適當ノ方法ヲ得ン蓋シ現行法ハ本院ノ檢視ニ付セラレシ

者ニシテ當時本官等モ意見ナキニアラサリシ者ナレハナリ

○九番津田
眞道

本官ハ大體上本案ヲ否トス廿三番ノ論說ハ先ツ吾心ヲ
獲タリト謂フヘシ乃チ廿三番モ述フル如ク勸業ハ國家ノ大害ヲナ
ス者ニアラサルナリ然レモ亦一方ヨリ之ヲ論スレハ勸業ハ國家ノ
大害ヲ爲ス者ナリト謂フヲ得ヘシ蓋シ歐米各國ハ其人文ノ進歩著
シキヲ以テ我邦モ亦奮然農商務省ヲ置キ終ニ又本案ノ如キモノヲ
制定スルニ至ル其企望ハ素ヨリ嘉尚ニ堪ヘサルナリ然リト雖モ一
概ニ彼國ニ模倣シ彼我富實ノ程度人文開化ノ高低ヲ察セスシテ空
ク企望ヲ爲スハ反テ國家ノ大害ヲ來タシ財政困難ヲ醸スニ至ラン
看ヨ勸業ノ事ハ資金ヲ本トス此資金ニシテ準備セハ可ナレモ若シ
此準備ナクシテ徒ニ勸業ノ事ヲ爲サントセハ人民ハ國ト共ニ益々

困迫セン故ニ此ノ如キ法律ハ廢スルニ如カス帝ニ本案ヲ廢スルノ
ミナラス現行法モ亦之ヲ廢止スヘシ帝ニ然ルノミナラス本官ヲシ
テ國家ノ全權ヲ得セシメハ農商務省モ亦之ヲ廢止スルモ知ルヘカ
ラス退テ外國ノ形勢ヲ觀ルニ天下獨逸帝國ヨリ強キハナシ此帝國
ハ從來歐州中最大強ノ帝國ナリシニ佛帝第一世ナポレヲンノ爲メ
ニ四分五裂シテ恰モ春秋戰國ノ形勢ヲナセリ當時獨逸聯邦中ノ普
魯生國フレデリッキ大王勤儉約ヲ守リテ今日獨逸帝國ノ基礎ヲ爲
セリ大王ハ戰爭ニ巧ニ政畧ニ精ク最モ心ヲ儉約ニ止メタリ曾テ云
ク朕ハ國家第一等ノ臣民ナリト即チ大王ノ尊稱アル所以ナリ此ノ
如ク大王勤儉國庫ヲ充實セシヲ以テ國富ミ兵強ク終ニ佛國ヲ破リ
曾テ第一世ナポレヲンニ顛覆セラレシ獨逸帝國ヲ再造セリ是素ヨ

リ獨逸帝ノ英明ニヨルト雖モ蓋シフレデリック大王勤儉ノ餘澤ニ出テサルハナキナリ之ニ反シテ佛帝第三世ナポレヨンハ市街ヲ裝飾シ官吏ニ高給ヲ與ヘ頗ル外觀ヲ盛ニシタルノ結果セダンノ一敗英國ニ客死スルニ至レリ我邦モ大厦高樓ヲ作ラサレハ西洋ト並立スヘカラスト云フカ如キノ政畧ニ出ルアラハ實ニ憂慮ニ堪ヘサルナリ故ニ勸業ハ美事ナリト雖モ民力ノ程度ニ任セサルヘカラス現ニ工部省所轄ノ製造所ヲ拂下ケントスルモ人民克ク之ヲ買ヒ得ル者ナシ其他富岡ノ製糸場政府所屬ノ鉄道等皆然ラサルハナシ之ニ加フルニ紙幣ハ落價シ財政ハ日ニ困難ニ赴クノ今日ナリ此運ニシテ進行セハ前途ハ如何ノ景狀ヲ呈スヘキヤ是ヲ以テ勸業ノ事ハ工部ノ一省ヲ置キ模範ヲ爰ニ取ルニ止メテ農商務省ハ之ヲ廢スルモ

可ナルヘシ本官ハ漸進家ニシテ決シテ急進家ニアラサルナリ急進ハ素ヨリ爲ス能ハサル事ナリ事必ス漸ヲ以テ進マサルヘカラス若シ急進ニシテ事ヲ爲スヲ得ト云ハ、恰モ孩提ノ童ヲシテ無雙ノ力士ニ抗セシムルカ如シ能ク之ヲ爲スヲ得ヘキ乎漸ヲ以テ養フトキハ終ニ歐州現時ノ豪相ビスマルク其人ノ如キ者ニモ抗スルヲ得ルナリ前陳ノ理由ナルヲ以テ本官ハ本案ヲ否トス

○外番二番落合濟三

目下廿三番ノ廢案論ヲ聞クニ其要旨タルヤ大議論ニ涉リテ國家ノ財政上ニ及ヘリ本員ハ本案ノ爲ニ財政困難ニ及フカ如キ意外ノ論ヲ聞クニ惑フナリ蓋シ本案ノ大體ハ第二條項ニアルナリ然ルヲ政府事ヲ好ムノ施設ニ出ル如キノ顧慮アレハ是レ全ク歐州ノ模倣ヲ爲スニアラスシテ實事ヲ務メント欲スルナリ廿三番

ハ此ノ如キハ止ムヲ得テ止マサルコトナルヘシト云フニ似タレモ
 其實現行法ノ實施ニ障礙アルヲ以テ各地方官ノ意見ヲ聞キ彼此ヲ
 折衷シ遺漏ナキヲ期シテ此ニ至リシナリ惟フニ地方官ハ能ク民情
 ヲ洞悉スル者ナレハ此地方官ニシテ現行法民情ニ適セストスレハ
 ○即チ實施セサルモ猶實施シテ障礙アリト云フニ異ナラサルナリ要
 スルニ此案ノ精神ハ決シテ大厦高樓ヲ起サント欲スルニアラス現
 ニ各地共ニ勸業掛ナルモノアリ今本案ヲ布告スルモ何ノ地方力之
 ニ吃驚スル者アラシヤ況ヤ勸業ハ富國強兵ノ本ナリ第二條項中ニ
 含蓄スル所ハ富國ノ基ヲ爲ス者多ク即チ財政ヲ救護スルノ本ナル
 ヲヤ

○十二番 渡邊

各位ノ論中既ニ本官ノ論旨ヲ含蓄シタルヲ以テ更ニ

辨ヲ待タサレモ茲ニ一言セン本官ハ現行法ヲ廢スルト云ヒ財政困
 難ヲ來スト云フニ關セス本案ヲ廢セント欲ス但現行法ハ素ヨリ之
 ヲ廢スル能ハサルヲ以テ姑ク本案ヲ廢スヘシト云フハ敢テ法ノ不
 備ナルカ爲メニアラサルナリ蓋シ現行法ノ布告ハ府縣會開場ノ期
 ○ニ後レタルヲ以テ其議決ニ付セシハ二三縣ニ過キサルヘシ此二三
 縣ノ實施シタル手續ハ之ヲ知ラサレモ亦充分ノ手續ヲナシ能ハサ
 リシヲ推察ス何トナレハ諮問會員ヲ置クトキハ多額ノ給料ヲ要ス
 ルヲ以テナリ故ニ假ニ本案ノ精神ヲ可認スルモ現行法未タ府縣會
 ノ議決ニ至ラサルニ先タツテ本案ヲ布告セハ府縣會ハ必ス臨時會
 ヲ開カサルヘカラサルニ至ラン蓋シ甲乙勸業委員ノ年手當及旅費
 日當等ノ額ハ府縣會ノ議定ニ依ル等ノコトアルニヨリテ常置委員

ノ能ク議決スル所ニアラサルナリ故ニ本官ハ勸業ノ精神及法律ノ精神ニ付テハ別ニ論アレヒ之ヲ言ハス只今日ハ未タ本案ヲ議定發行スヘキノ時機ニアラサルヲ以テ本案ヲ廢シテ内閣ヨリ更ニ現行法ヲ本院ニ下付シテ議定セシメハ可ナリトス要スルニ府縣會ノ議決ト地方官ノ實施トヲ見シ上二三年ヲ經過シテ果シテ障礙アルニ會ハ、更ニ改正廢止ノ期アルヘキナリ

○議長 時午ヲ過クルヲ以テ一旦散會シテ午後更ニ開場セン散會セ

ヨ

午後零時十二分閉場

午後零時四十分開場

病ニ依リ
退席

十三番

岩下 方平

同

四番

税所 篤

同

三十番

海江田信義

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○五番 關口 隆吉

本官ハ本案ノ大體ヲ可トスト雖モ亦直ニ本案ヲ以テ施行セント欲セハ障礙アルヘキヲ信スルニヨリ第二讀會ニ至ラハ修

正說ヲ提出セント欲ス蓋シ勸業ハ美事ナリト雖モ三府四十二縣中

東西風俗人情ノ異アルニ關セス畫一ノ法ヲ行ヒ均一ノ效ヲ收メン

ト欲スルハ能ハサルノ事ナリ必ス地方人民ノ富實如何開進ノ高低

如何ヲ觀察シテ事ニ從ハサルヘカラサルナリ既ニ廢案論者アリト

雖モ若シ本案ヲ廢セハ地方官ハ現行法ニ由テ之カ組織ヲナサハル

ヘカラス其組織ヲナスヤ全然障碍アルヲ知ルモ法ノ命スル所如何トモスル能ハサルノ困難アルナリ是ヲ以テ本官ハ第二讀會ニ至ラハ有利無害ノ修正說ヲ提出セント欲スルナリ

○二番 神田孝平

本官モ本案ヲ否トスルナリ惟フニ勸業ノ事タル其功能ヲ云ヘハ法ニ存スルヨリモ人ニ存スル者多カラン故ヲ以テ畫一ノ法ヲ布ク能ハサルナリ若シ其法ヲ得其人ヲ得ハ實ニ大利アルヘキモ各地皆然ルヲ得サル者ナレハ今輿論ニ背テ畫一ノ法ヲ布カントスルハ却テ民情ヲ攪亂スルノ種子トナルヘキノミ是故ニ諮問會ヲ廢スルヲ得ハ廢スルニ如カスト雖モ若シ夫レ然ル能ハスンハ簡單ナル法ヲ設ケテ其施行ノ順序等ハ府縣會ノ議決ニ任セハ或ハ實益ヲ得ルアラシ猶詳細ハ第二讀會ニ至リ或ハ辨論シ或ハ各位ノ說ヲ

賛成スルコトアルヘシ

○十六番 伊丹重賢

本官ハ午前ニ數回發論ノ機ヲ失セリ但其機ヲ失セシヲ以テ反テ各位ノ名論ヲ聞クヲ得タルヲ喜フナリ本官モ亦大體本案ヲ否トス其否トスルノ理由ハ各位ノ明辨既ニ之ヲ盡スト雖モ本官ノ尤モ此案ヲ否トスルモノハ地方稅額ノ増加ヲ好マサルニアルナリ第四條ニ「云々若干名ヲ選任シ云々」トアリ内閣委員モ現行法定ムル所ノ五名以上十五名以下ニテハ人員過少ナリト云ヘリ然ラハ則縱令若干名トノ明文アルモ必ス現行法定ムル所ニ増スアリテ減スルナキヤ知ルヘシ第五條ニ「云々甲ハ平常ノ事務ト云々」ヲ擔任セシメ云々」トアリ是亦費用ヲ増スヘシ第六條ニ「云々甲ハ八年手當及旅費日當乙ハ旅費日當云々」トアリ是俸給ノ如キ者ニシテ平常事ヲ

執ラシムルヲ以テ此報酬アルナルヘシ此費目ノ如キハ明白ニ地方
 税中ヨリ給ストノ明文アリ近年各地方共ニ地方税増加シ即チ東京
 府ノ如キハ明治十三年ニハ四拾萬圓餘ナリシニ十四年度ニハ八拾
 萬圓餘トナリテ前年ニ比スレハ殆ト二倍ニ増加セリト聞ク此ノ時
 ニ當テ地方税ヲ増加スルノ法律ヲ布告セハ人民ノ之ヲ好マサルヤ
 明カナリ況ヤ物價騰貴シ金銀融通ヲ塞クノ今日ナルヲヤ故ニ姑ク
 本案ノ布告ヲ中止スヘシ仁慈ヲ旨トスル我政府ニシテ此ノ如キノ
 法案ヲ布ントスルハ蓋シ智者モ千慮ニ一失ノ謂ナラン乎

○番二番落合

各位ノ説ヲ聽クニ廢案ノ點ニ傾向セシカ如シ本員ハ
 本案ヲ維持スルノ任アルヲ以テ更ニ辨護セントス畢竟本案ハ午前
 ニモ述ヘシ如ク政府俄ニ事ヲ好ンテ此ニ至リシニアラス現在各地

方共ニ本案所示ノ形狀ヲ結構スルニ由テ之ヲ布告セント欲スルニ
 在ルナリ又現行法ヲ廢シテ本案ヲ布カント欲スルヲ見テ朝令暮改
 ナリトノ説アリ或ハ然ラン然レモ今日ニ在テ現行法ヲ實施セント
 欲スルモ實際障礙アルニ由テ止ムヲ得ス此案ヲ以テ之ニ換ントス
 ルナリ今假令本案ヲ廢スルニ至ルモ現行法ハ依然トシテ存在セル
 ナリ苟クモ政府ハ現行法ニ就テ各地方官ノ意見ヲ聽ナカラ只其朝
 令暮改ノ誹リヲ恐ル、一點ニ顧慮シテ無理ニ現行法ヲ實施セント
 スルカ如キハ決シテ爲ス能ハサルモノナリ既ニ其爲シ能ハサルヲ
 以テ之ヲ改良スルニアリ蓋シ改良ト云ヘハ現行法ヲ改正スルモ一
 且現行法ヲ廢シテ更ニ本案トナスモ其實同軌ナリ今現行法ヲ改正
 スルハ或ハ穩當ナルニ似タレモ其實改正ノ點多クニシテ容易ナラ

ス故ニ此ノ如クセシノミ要スルニ本案ハ農商務卿ヨリ各地方官ノ意見ヲ聞キ内閣モ亦熟議ヲ盡シタル者ニシテ現行法ニ代フルニハ至當ナル法案ナリトス固ヨリ事ヲ好ムニアラサルナリ

○一番本田親雄

目下廢案論者アリテ本案ヲ廢スルニ至ルモ現行法ハ猶依然トシテ現存スルヲ如何セン然レトモ本官ハ政府此ノ如ク勸業ニ干渉スルノ事ヲ聞カサルニ由リ廿一番ト意見ヲ同ウス且修正説ヲ蓄フルヲ以テ第二讀會ヲ待テ之ヲ提出セント欲ス故ニ之ヲ豫言ス

○廿五番東久世通禎

本官モ本案ヲ不穩當トス内閣委員ハ去年農商務卿ヨリ現行法ニ對シ各地方官ニ意見ヲ問ヒ而シテ後反覆調査シタルノ本案ナルヲ以テ不可ナシト辨セリ然レモ其地方官中ニハ或ハ現

行法ヲ不可ナシト云ヒ或ハ改良スヘシト云ヒ或ハ廢止スヘシト云テ其意見一定ナラスト云ヘリ然ルニ其意見ノ改良ト廢止トノ如何ヲ問ハス偏ニ地方稅ヲ増加スヘキ法律ヲ發スルニ至ラハ前ニ改良ヲ望ミシ地方官ノ如キハ却テ之ヲ不改良トスルヲ保セサルナリ況ヤ現行法ハ未タ實施セサルノ地方アルヲヤ本案須ク廢棄スヘシ
○番二番 落合三 廿五番モ亦地方稅増加ノ點ニ憂慮アリト雖モ地方官ハ必ス許多ノ甲乙委員ヲ置クニアラサルヘキヲ以テ敢テ過慮ヲ要セサルヘシ

此時議長代理 佐野常民 廿八番ノ席ニ列シ

廿五番東久世通禎 議長席ニ着ク

且又委員ヲ置テ第二條項ノ事件ヲ擔當セシムルカ爲メニ地方稅ノ

増加スルト其地方勸業ノ事務ヲ着實ナラシメ倍々其改良ヲ圖ルト
 ヲ比較セハ其利害ノ多寡ハ如何ソヤ今ヤ各地共ニ勸業掛リアリ其
 費用ハ勸業費ヨリ之ヲ支辨セリ是實際然ラサルヲ得サレハナリ地
 方税中既ニ勸業費アルヲ以テ見レハ今勸業委員ヲ置テ若干ノ地方
 税ヲ増スモ豈民力ノ堪ヘサル所ナラシヤ又各地共ニ未タ現行法ヲ
 實施シタルニアラスト云フモ現在地方官カ目前ニ障碍アルヲ見テ
 現行法ハ不穩當ナリトノ意見ヲ呈スルニ關セス政府ハ必ス之ヲ斷
 行スヘシト命令スルノ理ハ萬ナカルヘキコトナリ既ニ各自ノ意見
 ヲ參酌折衷シテ此法案ヲ制定セシ者ナレハ實施如何ヲ以テ攘斥ス
 ルハ其意ヲ得サルナリ

○議長代理
東久世通禧

廿八番ハ意見ノ陳スヘキアルヲ以テ本官本席ノ

代理ヲナス

○廿八番
佐野常民

今本官ノ喋々ヲ要セサレ此案タルヤ其關係スル所

大ニシテ其得失モ亦之ニ稱フヲ以テ各位ノ論尾ニ附シ聊カ所感ノ
 一點ヲ陳ヘント欲ス抑勸業ハ美事ナリ勸業固ヨリ勉メサルヘカラ
 ス然レトモ其方法宜キヲ失ヘハ國家ノ大患ヲ醸スニ由テ寧ロ廢案
 スヘシトノ論者アリ夫レ然リ獨リ勸業ノミナラス其何ノ美事善業
 ヲ問ハス其方法宜キヲ得サレハ始メヨリ舉行セサルヲ勝レリトス
 ル者アリ彼ノ教育ノ如キハ道德智識ヲ進ムル者ナレハ固ヨリ之ヲ
 獎勵セサルヘカラス但其得タル教育ハ個々人々ノ一身ニ止マル者
 ニシテ直ニ政府ノ用ヲナス者ニハアラサルナリ然ルモ猶ホ政府ハ
 之ヲ獎勵スルナリ此政府獎勵スル所ノ教育ハ實ニ善美ノ事ナリト

雖モ是亦一步其方法ヲ過マレハ國家ノ大患ヲナスコトアリ今日我邦ノ教育方法ハ未タ善美ヲ盡サル所アルナリ爾後益教育ニ勵精シテ人民安堵國家康寧ノ地ヲナサルヘカラス勸業衛生皆然リ蓋シ人ノ生ヲ此世ニ稟クルヤ敢テ他人ノ扶助ヲ仰カス個々獨立シテ政府ノ勸獎ヲ待タサル者ニアラサレハ人民ニシテ人民タルノ義務ヲ盡ス能ハサルノ道理ナリ其然リ然レモ今日ノ貨殖家モ不幸ニシテ明日ノ貧乏タラサルヲ保セサルハ人事遭遇ノ測ルヘカヲサル者ナルヲ以テ政府保護上ヨリ勸業スルハ又當然ノ事ナリ九番ハフレデリック大王ノ勤儉第三世ナポレヨン帝驕奢ノ說アリ勿論儉約ハ人ノ守ラサルヘカヲサル所ナリ蓋シ九番ハナポレヨンハ驕奢ニ倒レタリト云ヘリ其然ルヤ否ヲ知ラスト雖モ該帝ノ勸業ヲ佛國ニ勉

メシハ未曾有ノ功業ナリ故ニ一時霸業ヲ歐洲ニ起シ獨國ト戰ヒ敗レテ莫大ノ償金ヲ出スニ至テモ易々之ヲ辨セリ其勸業ノ餘功偉ナリト云フヘシ惟フニ國ヲ富スハ勸業ニアルヲ以テ父母タル政府ヨリ赤子タル人民ニ之ヲ勸ムルハ當然ナリ歐米各國ヲ見ルニ其教育勸業ニ干涉スルハ本官等意想ノ外ニ出ルアリ就中英國ノ如キハ勸獎至ラサル所ナシ是ヲ以テ之ヲ觀レハ政府勸業ヲ勉メサルモ可ナリト云フノ理ハ萬アルコトナシ唯其勸業セサルモ可ナリト云フハ其勸業ノ事ヲ負擔スヘキ人物ナキト勸業ノ方法具ハラサルトノ二點ニ在テ然ルノミ既ニ歐洲文明豐富ノ國スヲ勸業ノ事ヲナスニ我邦事業未タ進マス加フルニ四拾萬ノ貧士族未タ産ヲ得サル如キアリ此秋ニ際シ豈勸業是レ勉メスシテ可ナランヤ此貧士族ハ世祿ノ

家ニ生レ二十歳前後ニシテ新時運ニ遭遇シ俄ニ商法ヲナスモ其不熟ヨリシテ忽チ失敗スル等ノ事ヨリシテ此ニ至リシナリ彼等素ヨリ人ナリ豈人ト并立スルヲ欲セサルノ徒ナランヤ唯其遭遇ノ如何ニ在テ然ルナリ政府是等ヲ勸奨スルハ素ヨリ其責任ニシテ決シテ好事ニ出ルニアラサルナリ前陳ノ如ク自己一身ノ損得サヘモ不測ニ出ル者アレハ政府モ知ラス識ラス失敗ナキコト能ハサルナリ然レモ稅ヲ徵シテ保護スルノ政府ナレハ力ノ及フ限リハ善良ニ赴カシメサルヘカラス地方官モ亦實際事業ノ舉ルヘキ目的ヲ立テ、却テ失敗スルコトナキニアラサルヘシ蓋シ諮問會ノ性質ニ由テ地方官ノ地位ニ立テ之ヲ論スレハ諮問會ハ實ニ有益ノ者ナルヘシ夫レ人ハ思想限リアル者ナレハ地方官ト雖モ一人ニテ農商工業ノ利害

ヲ察スルハ難事ナルヲ以テ自己ノ思考セント欲スル者若クハ思考スル者ヲ他人ニ諮詢スルハ其有益知ルヘキナリ況ヤ其諮詢セシ事件ヲ上等會員ニ送ルヲヤ但現行諮問會規則ハ完備ニアラス憾ムヘシ本院ノ議定ニ付セスシテ檢視ニ付セシコト今本案ハ諮問ニ一步ヲ進メリ本官ハ舊ニ依リ諮問ニ止ムルヲ可トス何トナレハ本案委員ノ性質ハ學務衛生ノ委員ニ異ナリ若シ之ヲ常設委員トセハ反テ議論ノ多カルヘキヲ知レハナリ勿論勸奨スル所ノ事務施行スル所ノ事件ニ至テハ行政官ノ權ニアレハ地方議會ノ議決ニ任スル乎未タ如何ヲ期セスト雖モ此常設委員ニ全然施行セシムルハ行政ト議政トノ別ヲ過マルニ至ルヘシ故ニ本案ヲ廢シテ現行法ヲ全フスル等ハ各位ノ考案ニアルヘシ本官モ亦論アリ要スルニ方法ノ宜キ

ヲ得サルヨリシテ勸業ノ美意ヲ傷フハ本官ノ好マサル所ナリ

○議長 發議ナキヲ以テ茲ニ第一讀會ヲ了ル第二讀會ノ期日ハ追テ報告スヘシ散會セヨ

午後第一時三十分閉場

本案ハ五月二十七日太政大臣ヨリノ通牒ニヨリ第二第三讀會ヲ經過セスシテ内閣ニ奉還ス

元老院會議筆記明治十五年五月十八日

禁傍聽

○第三百廿六號議案 富籤ヲ購買シ及牙保ヲ爲シタル者等處分方ノ儀 第一第二及第三讀會

議長代理 佐野常民

出席議員

- 一番 本田 親雄
- 二番 神田 孝平
- 四番 稅所 篤
- 五番 關口 隆吉
- 六番 楠田 英世
- 七番 伊集院兼寬

- 八番 大久保一翁
- 九番 津田 眞道
- 十二番 渡邊 清
- 十五番 津田 出
- 十六番 伊丹 重賢
- 廿一番 楠本 正隆
- 廿二番 野村 素介
- 廿三番 箕作 麟祥
- 廿五番 東久世通禧
- 廿六番 榎村 正直
- 廿七番 細川潤次郎

- 廿九番 林 友幸
- 卅一番 柴原 和
- 卅二番 鍋島 幹

内閣委員 番外二番 参事院議官補清浦 奎吾

午前第十時二十五分開場

○議長 議長ノ病痾未タ癒エサルヲ以テ本官代理ヲ爲シ第三百廿六號議案第一讀會ヲ開ク例ニ遵ヒ發議スヘシ

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治元年十二月廿三日ノ布告ニ原ツキ富籤ヲ購買シ及牙保ヲ爲シタル者等處分方左ノ通制定ス

第一條

凡富籤ヲ購買シタル者ハ其價ヲ拂ヒタルト未タ拂ハサルトヲ間ハ
ス二十日以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス他人ノ名ヲ借リテ購買シタル者及ヒ他人ヨリ譲リ受ケタ
ル者亦同シ

第二條

富籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重
禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三條

第一條第二條ノ罪ヲ再犯シタル者ハ同條ニ定メタル刑期金額ノ二
倍ヲ科スルコトヲ得

第四條

前數條ノ犯罪ヲ告發シタル者ニハ其徵スル所ノ罰金ノ半額ヲ給與
ス

第五條

前數條ノ罪ヲ犯シ事未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ
其罪ヲ免ス餘人ヲ告發シタル者ハ仍ホ罰金ノ半額ヲ給與ス
再犯ニ係ル者ハ自首スト雖モ其罪ヲ免セス

第六條

前數條ノ犯罪ニ因テ得タル財物ハ之ヲ沒收ス
自首ニ因テ罪ヲ免シタル者ト雖モ財物沒收ハ仍ホ前項ニ依ル
右奉 勅旨布告候事

○番二番清浦
外奎吾

本案ノ頒布ヲ要スル理由ヲ説明セン抑富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ刑法第二百六十二條ニ據テ處罰スト雖モ富籤賣買ノ牙保ヲ爲シ及之ヲ購買シタル者ヲ罰スルノ明條ナキハ畢竟興行者アラサレハ購買者之ナキノ理ナルヲ以テ其末ヲ措キ其源ヲ塞クノ意ニ出テタル者ナリ然ルニ各位モ既ニ知ル如ク近來我國ニ於テ西班牙政府ノ屬島ナル呂宋ヨリ發行スル所ノ富籤ヲ購買スル者日ヲ追テ繁殖ス是レ最モ恐ルヘキ事件ニシテ彼レノ此企テタル要スルニ東洋人ノ投機心強キニ乘シテ其財貨ヲ網羅セント欲スルニ在ルナリ聞ク清國ノ如キ一旦其富籤ヲ購求シタル者アリテヨリ以來其弊忽チ全國ニ蔓延シ到ル處其販賣所アラサルナク之カ爲メニ産ヲ破リ家ヲ亡ス者比々絶エス地方官ハ其弊ヲ

患ヘ頻リニ之ヲ告諭スト雖モ人民ハ毫モ之ニ服スルノ色ナク今日ハ其弊害夫ノ阿片煙ト等ヲ同ウスルニ至レリト本邦ニ在テハ兩三年以來彼富籤ヲ販賣スル者アリ本年一月以降東京及横濱ニ於テ此弊俄カニ起リ其勢最モ甚タシク神戸及大阪地方等ニモ亦漸次蔓延ノ勢ヒアリ既ニ本年四月中東京ニテ購求シタル金額百弗ニ就キ百五十圓ノ積リニシテ四萬六千圓アリ之ニ横濱等ニテ購求シタル金額ヲ加フレハ十萬圓ヲ下ラサルナリ今日猶然リ他日僥倖ニシテ其籤ニ當リタル者アランニハ甲唱乙和我人民ノ僥倖心ヲ誘導シ其弊忽チ全國ニ傳播シテ夫ノ清國ノ阿片ニ於ケルト同一ナル害毒ヲ流スニ至ルハ鏡ニ照シテ物ヲ觀ルカ如シ故ニ早ク之ヲ防制セスンハ我國ノ富ハ終ニ彼ノ吸收スル所トナルト云フモ敢テ誣言ニ非サル

八
ヘシ乃チ本案ハ「外國發行ノ富籤ヲ購買シ及牙保ヲ爲シタル者云々」
ト明記セント欲スレトモ奈何セン是等ノコトハ頗ル外交上ニ關ス
ルヲ以テ斯ノ如ク揭示スルニ止ルハ己ムヲ得サルニ出ルモノナリ
本案ノ頒布ヲ要スル理由ハ以上陳述スルカ如シ尙ホ本案第一條以
下第六條迄ノ旨趣ニ就テ之ヲ論センニ案中外國發行ノ富籤云々ノ
明文ナキヲ以テ内國發行ノ富籤ヲ購求シ若クハ之カ牙保幫助ヲ爲
シタル者モ亦本案ニ據テ處罰セララルヘシ然ラハ刑法ト其權衡ヲ保
ツ能ハスト論駁スル者ナキヲ期シ難シ何トナレハ刑法總則中正犯
ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等
ヲ減ス「トアルヲ以テ彼ニ據レハ本案第二條ニ云フ所ノ「牙保若クハ
幫助ヲ爲シタル者」ハ從犯トシテ減等スヘキニ似タレハナリ然レト

九
モ若シ右ノ如ク牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者ノ刑ハ正犯ヨリ一等
ヲ減スルコト、セハ本條ノ一月以上六月以下ヲ修正シテ十五日以
上三月以下ト爲スニ至ルヘシ牙保等ニシテ猶然レハ購買者ヲ罰ス
ルニハ違警罪ヲ以テスル乎然ラサルモ十一日以上一月以下ト迄モ
減刑セサルヘカラス若シ夫レ斯ノ如クンハ到底細民ノ投機心ヲ抑
制スル能ハス故ニ本案ハ刑法ノ權衡ニ據ラス惟幾許カ之ヲ失ハサ
ルヲ勤メタリ是レ前說ノ如ク本案ハ外國發行ノ富籤ヲ購買シ若ク
ハ牙保スル者ヲ禁止スルノ精神ニ成リタルニ由テナリ又犯罪ヲ告
發シタル者ニ其徵スル所ノ罰金ノ半額ヲ給與スルカ如キハ人ヲシ
テ訐テ以テ利トスルノ弊ニ陷ラシムルノ恐レアレハ是亦單純ナル
刑法ノ旨趣ニハ適當セサレトモ是等ノ犯罪ハ極テ隱密ナルヲ以テ

十
檢察官吏ノミニテハ充分ノ檢偵ヲ遂ル能ハス乃チ證券印紙及煙草
印紙規則等ノ例ニ由リ此ノ如ク掲載シタルナリ是レ所謂蛇道蛇知
ナル俚諺ニ取ル者ナリ又犯罪ニ因テ得タル物件ヲ沒收スル等ハ刑
法總則中ニ明掲セルヲ以テ此ニ示サ、ルモ可ナルニ似タレトモ本
案ハ特別ノ法律ナルニ由テ特ニ之ヲ掲ケタリ其他猶各條ニ就キ疑
義アレハ從テ之ヲ辯セン再ヒ說ク此富籤開札ノ期月ハ本年六月ナ
ルハ横濱港「ブーチン」商店ヨリ新聞紙ニ據テ廣告シタルカ如クニシ
テ今日ニ在テハ寔ニ焦眉ノ急トモ云フヘキ者ナレハ各位之ヲ諒シ
テ速ニ本案ニ可決アラシコトヲ切望ス

○二十七番 細川潤 次郎 質問スヘキコトアリ本案第六條ニ「犯罪ニ因テ得
タル財物ハ之ヲ沒收ス」トアリ是レ刑法總則中ノ文ト同一ニシテ之

ヲ掲クルハ固ヨリ不可ナシト雖モ此ニ所謂犯罪ニ因テ得タル財物
トハ如何ナル者ヲ云フカ本案ハ興行者ニ說キ及ハス牙保及購買者
ノミニ關ルノ法律ナレハ財物ヲ沒收スルハ興行者ヨリスルニ非ス
特ニ牙保及購買者ヨリスルハ言ヲ俟タスシテ知ルヘキナリ然ルニ
第一條ニ「凡富籤ヲ購買シタル者ハ其價ヲ拂ヒタルト未タ拂ハサル
トヲ問ハス」トアリ然レハ購買者ハ其價ヲ拂ヒタル迄ニシテ一文半
錢ノ利益ヲモ獲サルアリ又第二條ニ「富籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ
爲シタル者」トアリ是等ノ徒ハ如何シテ財物ヲ獲ルヤ其財物トハ或
ハ手數料ノ意ナル乎將タ開札ノ時當籤者ヨリ幾許ノ金額ヲ得ヘキ
者ヲ云フ乎表面ヨリ之カ解釋ヲ下セハ當籤者ハ財物ヲ獲ヘキニ由
リ之ヲ沒收スルハ聽ヲ得ヘキモ其他ノ購買者及牙保等ハ財物ヲ得

ヘカラサルニ由リ之ヲ沒收スル能ハサルカ如シ之ヲ如何スルヤ

○外番二番清浦奎吾

前ニモ陳ヘタルカ如ク第六條ノ「犯罪ニ因テ得タル財物云々」ハ刑法總則中ノ主義ト同一ニシテ彼ニ其明文アレハ此ニ之ヲ省畧スルモ亦可ナレトモ本案ハ特別ノ法律ナルヲ以テ特ニ之ヲ掲載シタリ第一條ノ「凡富籤ヲ購買シタル者云々」其意ハ籤ニ當リタル者アラシニハ其金額ヲ沒收スルニ在リ是レ則チ禁制シタル富籤ヲ購買シタルニ因テ獲タル所ノ金額ナレハ之ヲ「犯罪ニ因テ得タル財物」ト謂フヘケレハナリ又第二條ニ云フ所ノ「牙保若クハ幫助ヲ爲ス者ハ素ヨリ恩惠ノ爲メニスルニ非サルヤ明白ナレハ報勞金若クハ其他ノ名ニ據テ財物ヲ獲ヘキニ依リ之ヲ沒收スルノ意ニシテ是等ノ精神ハ毫モ刑法ト殊異ナキナリ又其興行者ニ在テハ利益ヲ獲

ルヤ明カナレトモ是レ刑法總則ニ據テ沒收スヘケレハ此ニ之ヲ揭示スルヲ要セサルナリ畢竟前說ノ如ク本案ノ精神ハ外國發行ノ富籤ヲ購買若クハ牙保幫助シタル者ヲ罰スルニ在リテ即チ之カ興行者ハ外國人ナルヲ以テ本邦ニ在テハ到底之ヲ如何トモスル能ハサルニ由リ興行者ニ關ル所ノ罰法ハ本案ニ要用ナラサルナリ

○三十一番柴原和

本案ノ旨趣ハ内閣委員ノ説明ニテ詳ニ之ヲ領會セリ說ノ如ク富籤賣買ノ弊タル風俗ヲ害シ財産ヲ蕩盡スルニ至ルハ夫ノ阿片煙ノ害ニ讓ラサルヘシ故ニ本官ハ本案ノ大體ニハ同意ナレトモ案中二三ノ解シ難キ者アルヲ以テ先ツ之ヲ質サン其一布告案中明治元年十二月廿三日ノ布告ニ原ツキ云々「トアリ該布告ハ則チ富籤ノ興行ヲ禁止スル者ナリ然ルニ内閣委員カ本案ノ理由ヲ說

明シタル時ニ在テモ特ニ刑法ヲ引キ右布告文ノコトニ及ハス既ニ本官等ハ刑法發表ノ日ト同時ニ該布告ハ消滅シタリト思惟セシニ今回特ニ之ヲ本案ノ冒頭ニ掲ケタルハ何ソヤ其二第二條ニ富籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者云々トアリ原來本官ハ刑法第二百六十二條ヲ解シテ獨リ富籤ヲ興行シタル者ノミナラス之ニ土地ヲ貸與セシ等ハ賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リタル者ト同シク從犯モ其中ニ含蓄セリト思考シタリ然ルニ委員ハ之ヲ以テ特ニ富籤ヲ興行シタル者ノミヲ罰スルノ明條ナキカ如ク説明セリ果シテ然ラハ土地ヲ貸シ房屋ヲ給シ開張セシメタル者等ハ何ニ據テ處罰スル乎其三第三條ニ第一條第二條ノ罪ヲ再犯シタル者ハ同條ニ定メタル刑期金額ノ二倍ヲ科スルトアリ是レ第一第二兩條ニ定メタル

罰金額ノ二倍ニ至ル迄ヲ科スルノ意ナル乎二倍以下何程少額ヲ科スルモ一ニ判官ノ意料ニ任スルノ意ナル乎抑判然二倍ト云フノ意ナル乎其四第五條第二項ニ再犯ニ係ル者ハ自首スト雖モ其罪ヲ免セストアリ刑法ニハ謀殺故殺ニ係ル者ノ外諸般ノ罪ハ自首ニ由テ皆一二等ヲ減セララル、ニ非スヤ然ルニ委員モ既ニ辯シタルカ如ク本案ハ風俗ヲ害スルヲ防制スル法律ニシテ警察官吏ノミニテハ充分此犯罪ヲ探偵スルニ難シ故ニ第四第五兩條ノ如ク他人ノ犯罪ヲ告發シタル者ニハ其徵スル所ノ罰金ノ半額ヲ給與スル程ナレハ自首スルモノアランニハ縱ヒ再犯ニ係ル者ト雖モ亦其罪ヲ免シテ不可ナキカ如シ以上四箇立案ノ主旨ヲ問フ

○外番二番清補 三十一番ノ質疑ニ答ヘン其一本布告案ノ冒頭ニ明治

元年十二月廿三日ノ布告ニ原ツキ云々ト掲ケタルハ是レ從前ノ布告ト變例ニシテ今回特ニ注意ヲ加ヘタル者ナリ右元年ノ布告ハ則チ「富興行ノ儀ハ兼テ御制禁ニ有之處近年諸國ニ於テ金錢融通ヲ名トシ或ハ社寺再建等ニ托シ興行致候向モ有之趣云々」ノ文ニシテ全ク人民ノ心得ヲ示シタル者ナレハ刑法ノ發行ニ由テ消滅シタリトハ云フヘカラス原來本案ノ頒布ヲ要スル理由ハ前既ニ陳述シタルカ如ク外國發行ノ富籤ヲ購買シ若クハ牙保ヲ爲ス者等ヲ禁止スルノ意ナリト雖モ陽ニ之ヲ示セハ外交上ニ關シテ甚タ恐ルヘキコトアリ良シ之ヲ通常布告文ノ體ニ據テ記スルモ現時外國ニテ富籤ヲ興行シ其購求者ヲ募集スルノ際我國ニ在テ俄ニ之ヲ購求シ若クハ之カ牙保ヲ爲ス者等ヲ禁止スルニ在レハ恐クハ彼ヲシテ本案ノ出ル

所以ハ專ラ彼輩カ今回ノ企望ヲ防制スルニ在ルヘシトノ念慮ヲ發生セシムヘシ夫ノ石油取締規則ノ如キ既ニ前年本院ノ議定ヲ經テ公布シタルニ彼ノ拒ム所トナリテ其實施ノ期月ヲ緩ウセリ其他傳染病豫防規則等ニ關シテモ猶往々彼ト紛議ヲ生シ大ニ困難ヲ極メタルコトアルハ各位ノ知ル所ナリ因テ特ニ明治元年十二月云々ト冒頭ニ掲載シテ我國ニ於テ富籤賣買ヲ禁スルハ今日ニ濫觴スルニ非ス明治元年以前ニ在テ既ニ禁制タリシコトヲ示シテ豫メ異日ノ紛議ヲ防キタルモノナリ其二賭場ヲ開張シタル者ノ如キハ是レ共犯者ナルヲ以テ刑法第二百六十條及第二百六十一條等ニ明文アリ謂フ所ノ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スル業ヲ興行セシメタル者モ第二百六十二條中ニ含蓄スヘキニ由リ本案ハ特ニ之ヲ明記セサルナリ

其三第三條ニ第一條第二條ノ罪ヲ再犯シタル者ハ同條ニ定メタル
 刑期金額ノ二倍ヲ科スルコトヲ得トアルモ是亦主任者ノ特ニ注意
 ヲ加ヘタル所ニシテ文中同條ニ定メタル云々ノ文字是レ最モ着眼
 ヲ要スヘキ者ナリ人或ハ本條ヲ解シテ初犯ニ六箇月ノ重禁錮ニ處
 セラレタル者ハ再犯ハ其二倍即チ一年ノ重禁錮ニ處スルノ意ナル
 ヘシト思考センカ若シ夫レ本案ハ斯ノ如キ主意ナランニハ當ニ前
 ニ科シタル刑期金額ノ二倍云々ト掲クヘシ畢竟同條ニ定メタル云
 ヲト掲載シタル者ハ縱ヘハ第二條ノ二月以上ヲ二月以上トシ六
 月以下ヲ一年以下トシテ其最少限ト其最多限トヲ二倍シ此間ニ就
 テ判官カ適當ノ刑ニ處スルヲ得ルカ爲メナリ而シテ此類例ハ數多
 アリ夫ノ治罪法中證人訊問ノ節中ニモ證人呼出ニ應セサル時ハ檢

事ノ意見ヲ聽キ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ言渡シ云々若シ證人再
 度ノ呼出ニ應セサル時ハ二倍ノ罰金ヲ言渡シ云々是レ其一例ナリ
 其四再犯ニ係ル者ハ自首スト雖モ其罪ヲ免セサルハ一旦政府ヨリ
 法ヲ布キタル以上之ニ悖戻シタル者ハ初犯スラ獨其罪ヲ減刑セス
 シテ可ナルニ似タレトモ刑法ニハ一等若クハ二等ヲ減スルコトハ
 シタリ是レ專ラ支那律ニ起因シ彼ニ在テハ所謂過則勿憚改ト云ヘ
 ル主義ニ出テタルモノナルヘシ寔ニ然リ自首ニ由リ刑ヲ減スルコ
 トハセハ犯罪人ノ終始其非ヲ遂ントスル者ヲ減スヘシ又官府ニ在
 テモ之カ爲メ犯罪捜査等ノ手數ヲ減少シ公私共ニ益アルヲ以テナ
 リ然ルニ本案示ス所ノ犯罪ノ如キハ極メテ隱密ニシテ頗ル其檢偵
 ニ難キヲ以テ初犯ニ在テ自首シタル者ハ特ニ其罪ヲ全免スルモ尙

ホ之ヲ再犯三犯ニモ及ホスコト、セハ其弊ヤ遂ニ此カ犯罪ニ慣レ
テ發覺セサルヲ僥倖トシテ富籤ヲ購買スル者絶エサルニ至ルヘシ
果シテ然ラハ我國ノ富ハ遠ク去テ外國ニ渡航スヘシ是レ再犯ノ罪
ハ自首スト雖モ猶免除セサル所以ナリ

○六番 楠田英世

本案ノ頒布ヲ要スル理由ハ内閣委員ノ説明ニテ詳ニ領
會シタリ本官ハ本案ノ成ル所以ヲ甚タ賛成シ且其處刑ノ權衡ニ至
テモ之ヲ重シトセス反テ或ハ輕ニ失シ未タ以テ現時ノ弊害ヲ矯正
スルニ足ラサルヲ憂フルナリ嘗テ聞ク富籤ノ賣買ハ富強ノ國ニ於
テスルト貧弱ノ國ニ於テスルト全ク其性質ヲ異ニスト看ルヘシ我
國ニ於テモ攷ヤトシテ日々職業ニ勉強スル所ノ農商工ハ之ニ關セ
ス惟放逸懶惰ニシテ日ヲ迎ヘ年ヲ送り其資財ノ洽ネカラサル輩ノ

ミ之ニ關係スルヲ且今回ノ如キハ外國發行ノ富籤ヲ購買スルニ在
レハ每次金銀貨幣ヲ以テセサルヘカラス故ニ三萬圓ヲ費スハ六萬
圓ノ損ト爲ルヘシ又本布告案ノ冒頭ニ明治元年十二月云々ト掲載
シタルハ大ニ其宜キヲ得タリトス且夫レ刑法ノ發行ニ至リタル以
上ト雖モ該布告ノ消滅ニ歸セサルハ目下内閣委員ノ説明セルカ如
シ到底該布告ハ告諭ニ止マリ刑法第二百六十二條ハ之ヲ明ニシ之
ニ制裁ヲ與ヘタル者ナレハ甲乙決シテ抵觸スルニ非サルナリ又第
二條ニ所謂富籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者ハ畢竟刑法第
百四條ニ二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト爲シ云々ノ明文
ニ據テ之ヲ刑法第二百六十二條ニ照スモ決シテ權衡ヲ失スルニ非
ス夫ノ牙保等ニ在テハ己ヲ利スルカ爲メ他ヲ教唆スルヲ常トスル

者ナレハ之ヲ共犯ト看ルモ亦不當ナラス是等ノ類例ハ刑法總則中
既ニ之アルヲ信スルナリ因テ本官ハ本案ノ儘決定シ速ニ上奏アラ
シコトヲ望ム

○二十一番 楠本 正隆

本官ハ本案ニ關シテ數箇ノ疑義ヲ懷キタリシカ各
位ノ質問ト内閣委員ノ答辯トニ由テ稍其疑團ヲ消散シ今惟一箇ノ
解セサル者存在セルヲ以テ之ヲ質サン夫レ諸般ノ布告布達等ニ對
シテ從來若干日ノ猶豫期日ヲ與フル者ハ眞ニ政府ノ美德ニシテ本
案ノ如キ罰金ノ外財産ニモ關係ヲ及ホス者ニ至テハ一層施行期日
ノ猶豫ヲ與ヘサルヘカラス夫ノ富籤購買金額ノ盛ナル客月中東京
ニ五萬圓橫濱等ニ若干圓アリトノ委員ノ説明ニ至テハ本官ノ豫想
外ニシテ實ニ驚ニ堪エタリ故ニ本官ハ今日ニ在テ之ヲ救濟スルノ

極テ要用ナルヲ知ルト同時ニ本案ヲ實行スルノ早キニ於テハ其罪
人ヲ生スルノ又極テ夥多ナルヲ恐ル、ナリ蓋シ之ヲ發布スル以上
ハ自ラ警メテ善ニ移ル者アルヘシト雖モ本案ノ如キハ平常布告ノ
猶豫期日ノミニテハ尙ホ其足ラサルヲ信ス然レトモ之ニ拘ハラス
彼此同一ノ法ニ依テ實施セサレハ他ニ亦之ニ勝ルノ障害アリトス
ル乎又刑法ノ如キハ豫テ之ヲ布告シ本年一月一日ヨリ實施シタレ
ハ今回モ亦尙ホ是等ノ例ニ由ル乎委員ノ口氣ニテハ本案ハ急速實
行スル者ノ如シ果シテ然ラハ縱ヒ通常猶豫期日ノ他ニ幾多ノ猶豫
ヲ與ヘント欲スルモ今之ヲ顧ルニ違マナキ障害アルニ由ル乎
○外番 清浦 奎吾 二十一番ノ質疑ニ答ヘン原來布告ノ發表ヨリ之ヲ實
施スルニ至ル迄ハ各幾許ノ猶豫期日アリ本案ノ急施ヲ要スルハ則

チ過刻陳ルカ如シト雖モ之ヲ實行スルハ又彼郵便規則ノ如キ罰則アル者ノ發令後幾許日ヲ經テ實施シタルト其例ヲ同ウスルノ意ナリ茲ニ二十一番ノ論說中本官其解ヲ得サル者アリ本案實施ノ緩急ニ由テ夥多ノ罪人ヲ生スヘシトノ説是レナリ縱ヒ今日之ヲ發シ明日ヨリ之ヲ實行スルモ其前日ノ所爲ニ遡テ罰スル能ハス是レ法律ハ頒布以前ニ係ルノ犯罪ニ及ホサ、ルノ原則ナレハナリ故ニ之ヲ發令シ人民ヲシテ此事ノ國禁タルヲ知ラシメ而シテ後之ニ乖戾スル者ヲ罰スルニ在レハ之カ實施ノ緩急ニ由テ夥多ノ罪人ヲ生スヘシトノ説ハ本官ニ在テハ到底解スルヲ得サルナリ

○十三番 渡邊清

本案ヲ可トス茲ニ本官ハ富籤ナル稱呼ノ區域ニ關シテ聊疑團アリ抑富籤トハ富札ノコトナリ而シテ單ニ富興行ト云ハ

ハ如何ナル者ニ當ル乎蓋シ其方法ニハ數種アルヘシ刑法ニモ「富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者云々」トアリ其所謂富籤トハ何等ヲ指ス乎嘗テ聞ク方函ニ小札子ヲ納レ兒童ノ盛服シタル者ヲシテ其函中ノ小札子ヲ糊カシメ以テ其當籤者ヲ定ムルノ法アリト又吳服店ニ於テ籤ヲ賣リ豫テ賣リ殘リタル布帛ノ片子ヲ當籤者ニ付與スルカ如キハ特ニ東京ノミナラス各地方ニ於テモ往々看ル所ナリ是等ハ富ト名稱スヘカラサルモ亦本案ニ據テ處罰スルノ意ナル乎又俗ニ所謂賴母子ナル者アリ取退無盡ト號シテ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スル者アリ是等ハ如何スルノ意ナルヤ

○外二番 清浦奎吾

富籤ナル文字ハ既ニ刑法ニ明掲セルヲ以テ十二番ノ質問ニ對シテ今特ニ其意義ヲ説明セサルモ可ナリト思考スレトモ

一應之ヲ辯セン案中富籤ナル意義ハ刑法ニ云フ所ノ富籤ト同一ニシテ其方法ハ數種アリ本官カ郷里ノ如キハ恰モ目下十二番カ陳述セシ如ク方函中小札子ヲ納レ盛服ノ兒童ヲシテ其函中ノ小札子ヲ棚カシメ以テ當籤人ヲ定ムル等ノコト往々之アリ又現時群馬縣ニテ專ラ行ハル、者ノ如キ名ハ勸業若クハ學校保護等ノ爲メニストアレトモ其實富ノ範圍ヲ脱セサルカ如キ者アリ其他各地共ニ數種ノ方法ニ據テ之ヲ爲ス者アルヘシト雖モ要スルニ探圖ヲ以テ贏利ヲ博スル之ヲ富ト云フテ可ナリ故ニ縱ヒ名ハ取退無盡ト云ヒ賴母子ト云フモ刑法第二百六十二條ニ財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者云々トアレハ理非明白ナル判官ノ審判ニ依テ該條ニ觸レタルヤ否ヤヲ定ムヘシ那ノ謀故殺ノ如キ等シ

ク人ヲ殺スニ在レトモ謀殺ハ殺スニ至ラサル前既ニ殺サントスルノ心アリテ殺シタルヲ云ヒ故殺ハ殺スニ臨テ殺意ヲ生シテ殺シタルヲ云ヒ其審判ノ如キ特ニ至難ナルモ之ヲ明斷スルハ則チ判官ノ任ナレハ所謂富興行ノ如キ縱ヒ如何ナル名稱ヲ藉リ如何ナル方法ニ據テ之ヲ爲スモ其罪ノ有無ヲ斷スルハ亦一ニ其意料ニ任スヘキ者ナリ是ヲ以テ本官ハ何ハ富ト云ヒ何ハ富ト云フヘカラスト一々之カ區域ヲ稱述スルハ到底爲シ能ハサルナリ

○三十一番 柴原和

内閣委員ノ辯明中本官ハ少シク疑團ヲ生シタルヲ以テ之ヲ質サン本案ノ冒頭ニ明治元年云々ト掲ケタルト該布告ハ刑法發布ノ後ト雖モ猶消滅ニ歸セサルトハ聞ヲ得タリ而シテ刑ハ既往ニ及ホサルトノ説明モ亦同シク聞ヲ得タレトモ果シテ然ラ

ハ本案ヲ執テ本年六七月ノ交ヨリ實施スルモノト假定セハ爾後本案ニ觸ル、者ヲ罰スルハ論ヲ俟タサルヘキモ其以前購買シタル富籤ニ當リタル者ノ獲タル財物ハ之ヲ如何スルヤ既ニ刑ハ既往ニ遡ラサル原則ナレハ之ニ因テ獲タル財物ハ本人ノ所有トシテ不可ナキカ如シ如何

○外番二番清浦奎吾 善哉問ヤ本案發表前ニ富籤ヲ購買シタル者ハ之カ發令ノ日ニ及ヒ之ヲ官府ヘ自首セサルヘカラス然ルニ尙ホ之ヲ隱秘シテ他日當籤ニ因テ財物ヲ獲タル者アランニハ必ス之ヲ沒收スヘシ是レ所謂繼續犯罪ナレハナリ

○三十一番柴原和 復タ問フ之カ發令ノ日自首シタル者ニシテ異日當籤セハ之ニ因テ獲タル財物ハ如何スルヤ

○外番二番清浦奎吾 是レ第六條第二項自首ニ因テ罪ヲ免シタル者ト雖モ財物沒收ハ仍ホ前項ニ依ルトアルニ當ル者ナリ

○二十三番笑作麟祥 本案ニ對シテハ前ニ内閣委員ノ明瞭ナル説明アリ後又各位ノ質疑ニ就キ委員ノ答辯ニ依リ其旨趣ハ益々判然明白ナルヲ以テ本官ハ更ニ疑ヒノ質スヘキナシ因テ例ニ遵ヒ大意ニ關シテ聊カ陳述スル所アラントス抑本案第二條ノ刑期等ハ刑法第二百六十二條ト權衡ヲ同ウセス彼ト權衡ヲ保タシメントセハ一層其刑ヲ寬ニセサルヘカラス之ヲ寬ニセハ第一條ノ刑モ亦從テ寬ナラサルヘカラス此ノ如クシテ順次其刑ヲ輕ウスルニ於テハ到底今日ノ弊害ヲ防制スル能ハサルハ委員ノ述ル所ノ如シ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ本案第一第二兩條ハ刑ノ猛ナルニ非スシテ畢竟之カ源タル刑

法第二百六十二條ノ刑寛ナルニ失セリトス何トナレハ同條ハ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ヲ云フモノナレハ彼賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リタル者ト風俗ヲ害スルノ罪ハ一ナリ且其所爲ニ於テハ甲乙敢テ特別ノ差異ナキニ獨リ其刑ニノミ差等ヲ立テ之ヲ緩ウシタルニ因テナリ故ニ本官ハ此點ニ對シテハ本條ヲ不可ナシトシ更ニ之カ正犯者ノ刑即チ刑法第二百六十二條ノ刑ヲシテ殆ト賭博ト其等ヲ同ウセシムヘキノ意見書ヲ提出セントス又第四條ニ「前數條ノ犯罪ヲ告發シタル者ニハ其徵スル所ノ罰金ノ半額ヲ給與ス」トアリ委員ノ說ノ如ク此例ハ證券印紙煙草印紙兩規則等ニ出テ以テ其犯罪ヲ知ルノ便ニ供シ以テ檢察官ノ力足ラサルヲ補フヲ得ルモノナレハ之アルハ則チ可ナルニ似タレトモ茲ニ一ノ支障

アリ富籤ヲ購買シタル者若クハ牙保幫助ヲ爲シタル者アルヲ告發シタル輩ハ本條ニ據テ罰金ノ半額ヲ賞賜セラルヘキノカ正犯者タル興行人アルヲ告發シタル輩ハ此賞賜ニ與カルヘキノ明條ナシ原來購買者若クハ牙保等アルヲ告發シタル者ニ罰金ノ半額ヲ給與スル以上ハ正犯者タル興行人ヲ告發シタル輩ニ至テハ其全額ヲ給與スルモ猶可ナルニアラスヤ是レ本案ノ欠典ナランカ故ニ本官ハ大意ヲ陳述スルハ此ニ止メ更ニ第二讀會ヲ俟テ之カ修正說ヲ提出セント欲スルナリ

退席

六番

楠田 英世

○三十一番 柴原 和 再犯ニ係ル者ハ自首スト雖モ尙ホ其罪ヲ免セサルノ理由ハ委員ノ答辯ニテ之ヲ知レリ然ラハ則チ第五條中「餘人ヲ告

發シタル者ハ仍ホ罰金ノ半額ヲ給與ストアルハ反テ風俗ヲ紊スノ
 恐レアルヲ以テ今豫メ其所以ヲ陳ヘテ第二讀會ヲ俟テ更ニ之カ修
 正說ヲ提出セントス嘗テ密賣淫探偵ノコトヲ聞クニ當該官吏自ラ
 客ト爲リテ樓ニ登リ女ヲ聘シ其證跡ヲ認テ而シテ後直ニ之ヲ拿捕
 スル等ノコトアリト是等ノ所爲ハ本官ノ最モ憂慮スル所ニシテ本
 條中「餘人ヲ告發シタル者云々」ノ字句ヲ削ラサレハ又此ニ類スルノ
 害アラシコトヲ恐ル、ナリ何トナレハ官吏ニシテ既ニ前說ノ如キ
 方法ニ依テ賣淫ノ探偵ヲ爲ス者アレハ姦民ニ在テハ幾多ノ人ヲ教
 唆シテ共ニ富籤ヲ購買セシメ異日己ハ自首ニ由テ其罪ヲ免カレ而
 シテ餘人ヲ告發シ賞賜ヲ得テ以テ自家ノ利益ト爲スヲ圖ル者亦之
 アルヘケレハナリ其他案中附加ノ罰金ノ如キハ之ヲ多クスルモ可

ナリトス

○二十七番

細川潤次郎

本官ハ本案ノ大體ニ於テ異論ナキモ案中不完全
 ナリト思考スル者アルヲ以テ今豫メ之ヲ辯セン抑本官ノ本案ヲ不
 完全ナリト思考スル點ハ他ニ非ス既ニ本會ニ於テ論辯アリシ所ノ
 本案第一第二兩條ニ係ル刑ノ權衡是レナリ夫レ此第二條ニ所謂富
 籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者ノ刑期及罰金額ハ刑法第二
 百六十二條ニ示ス所ノ之カ正犯者ニ對スル者ト毫モ殊異ナシ乃チ
 之ヲ同法第九條ノ「正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從
 犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減スト云ヘル明文ト參照スルニ於テ本
 官ハ本案ノ頗ル支障アルヲ信スルナリ原來本案ハ何人發行スル所
 ノ富籤ニ關シテ布告スルヤト云ハ、則チ日本人民ナリト云ハサル

ヘカラス是レ案中外國發行ノ富籤云々ノ明文ナキニ因テナリ故ニ
 良シヤ其精神ハ然ラサルモ既ニ外交上忌憚スヘキ所アルヲ以テ特
 ニ斯ノ如ク掲載シタル以上ハ表面ヨリ之ヲ解セハ本案ハ本邦人ノ
 發行シタル富籤ヲ購買シ及牙保シタル者ヲ云ヒ傍ヲ外國人發行ノ
 富籤ヲ購買シ若クハ牙保シタル者等ニ及フナリ然ラハ是レ我刑法
 ニ一ノ變革ヲ與ヘタルモノト云フヘシ畢竟法律ハ人智ニ成ル者ナ
 レハ今亦人智ニ因テ之ヲ變更スルハ素ヨリ妨ケナシト雖モ彼新聞
 紙條例及出版條例等ニ時トシテ刑法ト同一ナル條項ヲ掲クルアル
 モ刑法ハ自ラ刑法ノ體面アルヲ以テ彼此抵觸スル等ノコトアラハ
 皆盡ク刑法ニ據ルヲ常トス要スルニ刑法ノ遺漏ヲ補フハ是レ今日
 單行法ノ與ル所ナレハナリ故ニ此牙保及幫助ヲ爲シタル者ハ刑法

第九條ノ正犯ヲ幫助シ云々從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス
 云ヘル明文ニ從ヒ同法第二百六十二條ノ刑ヨリ一等ヲ減セサレハ
 支障アリ請フ之ヲ細說セン茲ニ甲某ノ富興行ヲ爲シタル時ハ同條
 ニ據テ此第二條ト同一ナル刑ニ處セラルヘシ然ルニ乙某ノ該興行
 者ヲ幫助シタル時ハ本條ニ據テ處罰セン乎其刑タル正犯ト同一ナ
 リ第九條ニ據レハ其刑期等ノ本條ニ抵觸スルヲ如何セン此ニ於
 テ判官ハ擬律ニ究シ之カ處刑ノ果シテ何條ニ據ルヘキヤヲ稟議ス
 ヘシ此時ニ當テハ何ノ辭カ以テ之ニ答フヘキヤ之ニ就キ某議官ヨ
 リ元來第二百六十二條ノ刑ハ寬ニ失セリ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖シ
 タル者ノ如キハ賭博ト其刑ヲ均ウセシメテ可ナリトノ說アレトモ
 富籤賣買ニ至テハ其事ノ善ナラサルハ論ヲ俟タサレトモ或ハ救恤

ノ爲メニスルアリ又時トシテハ融通上利スル所アルヲ以テ賭博ニ
比スレハ其刑ハ之ヲ寛ニシテ至當ナルニ似タリ又縦ヒ一層此刑ヲ
猛ニスヘシト爲スモ今急施ヲ要スルノ案ニ對シテ之ヲ論スルハ本
官等ノ欲セサル所ナリ乃チ之ヲ論セサル以上ハ牙保等ノコトハ本
條ニ掲ケサレハ則チ己ム既ニ之ヲ掲クル以上ハ彼第二百六十二條
ノ刑ニ一等ヲ減スヘシ牙保等ニシテ減等スル以上ハ購買者ノ刑モ
亦減等スヘシ是レ本官ノ本案ニ對スル意見ナルヲ以テ第二讀會ニ
先チ豫メ之ヲ陳ヘテ各位ノ參考ニ供スルコト此ノ如シ

○二十五番 東久世通禧 第一讀會ハ將ニ畢ラントス茲ニ本案ハ往々修正
ヲ加フヘキ者アリト思考スルヲ以テ特ニ全部付託修正委員ヲ選舉
シ之ニ本案ノ修正ヲ付託シ直ニ修正ニ從事セシメ其訖ルヲ俟テ本

日ニモ第二讀會ヲ開キ以テ内閣急施ヲ要スルノ意ニ副ント欲スル
ニ由リ之ヲ建議ス

○二十一番 楠本正隆 賛成ス本案ハ急施ヲ要スルモ之ヲ以テ直ニ第二讀
會ヲ開クニ至ラハ議論百出反テ局ヲ結フ遲ウシテ遂ニ内閣ノ意ニ
乘戻スルヲ恐ル、ナリ

○外二番 清浦奎吾 本案ト刑法トノ權衡論ニ關シテハ過刻既ニ辯明シタ
ル所アレトモ尙ホ聊此ニ説明セントス抑刑法ノ權衡ヲ以テ之ヲ論
セハ其第九條ニ「正犯ヲ幫助シ云々從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ
減ス」トアルニ由リ第二條ノ刑ハ或ハ猛ニ失シタルニ似タレトモ本
案ハ特別法ナルヲ以テ斯ノ如ク爲スモ決シテ支障ナカルヘシ若シ
一ニ刑法ノ權衡ヲ以テ之ヲ論スレハ第五條ノ「前數條ノ罪ヲ犯シ事

未タ發覺セサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ其罪ヲ免スト云ヘルモ亦本刑ニ一等若クハ二等ヲ減スルコト、セサルヘカラス前ニモ陳述シタルカ如ク本案ハ畢竟外國發行ノ富籤ヲ購買若クハ牙保スル等ノ害ヲ防制スルヲ目的トシテ成レリ若シ内國發行ノ富籤ヲ購買スル者ノミニ關スルノ法律ナランニハ今俄ニ之ヲ發布スルヲ要セサリシナリ既ニ牙保ノ如キ日本刑法草案ニハ正犯者ト同シク之ヲ載セタルニ審査局ニ於テ削除シタレトモ今日ニ在テハ前述ノ理由アルヲ以テ之ヲ特記スルノ要用ナルニ至レリ又本案ノ如クンハ刑法第九條ト抵獨スルヲ以テ判官カ擬律ニ惑フヘシトノ說アレトモ此ニ二日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加スト明記シタル以上ハ決シテ斯ノ如キ憂アラヌ又單行

律ハ刑法ニ比スレハ其効力薄シト云フニ似タレトモ均ク勅命ヲ奉シテ太政大臣ヨリ布告スル者ナレハ其効力ニ差等アルノ理ナク反テ刑法ハ前ニ發シ本案ハ後ニ出ルヲ以テ本案ハ刑法中ノ特例法ト解スヘケレハ判官ニ在テハ必ス彼ヲ捨テ此ニ從フヘキヲ信スルナリ且第二條ノ刑ヲ輕ウスルニ於テハ從テ第一條ノ刑モ輕ウセサルヘカラス此ノ如ク順次其刑ヲ寬ウスルニ至ラハ到底之カ管理ヲ爲ス能ハサルナリ又然ラハ寧ロ刑法第二百六十二條ノ刑ヲ重ウセントノ說アリ是レ本官ノ敢テ容喙スヘキ所ニ非サレトモ各位ノ參考ニ供スルカ爲メ此ニ一言セン内閣ニ於テモ亦嘗テ之ト同一ナル動議アリシカトモ刑法ハ實施以來日尙ホ淺ク未タ其果シテ實際ニ適スルヤ否ヤヲ詳カニセス然ルニ今外國發行ノ富籤ニ關シテ本案ノ

出ルニ當リ遽ニ内國發行ノ富籤ニ關スル法律ヲモ變更シテ權衡ヲ保タシメントスルハ輕舉ノ恐レアルヲ以テ遂ニ此ニ及ハサリシナリ畢竟此第二條ハ第九條ノ特別法ナレハ矛盾ニ非ス又不權衡ニモ非サルナリ

○議長 廿五番ヨリ全部付託修正委員選定ノ建議アリ之ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十人

○議長 多數ナルヲ以テ廿五番ノ建議ニ決シ茲ニ投票ヲ以テ五名ノ修正委員ヲ選舉スヘシ且本案ハ極テ急施ヲ要スルニ由リ之カ委員ニ當リタル議官ハ直ニ本案ノ調査ニ從事シ其修正報告ヲ俟テ引續第二讀會ヲ開クヘシ

○議長 投票ノ高點二十三番眞作并ニ二十七番細川潤次郎ハ十五點九番

津田眞道ハ十三點十五番津田ハ十一點三十一番柴原ハ十點ナルヲ以テ

右五名ヲ本案全部付託修正委員ト爲ス尙ホ其修正ノ局ヲ告ルヲ俟テ直ニ第二讀會ヲ開クヘケレハ各位之ヲ領シテ姑ラク開會ノ時ヲ待ツヘシ一應散會セヨ

午後零時三十五分開場

午後第二時五十分開場

退席

四番 稅所 篤

同

十五番 津田 出

同

廿一番 楠本 正隆

同

廿二番

野村 素介

○議長 第二讀會ヲ開ク茲ニ内閣下付原案ト修正案ト二種アルヲ以テ例ニ依リ孰レヲ本案トシテ議スヘキヤヲ決セン乃チ修正案ヲ本案ト爲スニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ修正案ヲ本案ト爲ス

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治元年十二月二十三日ノ布告ニ原ツキ富籤ヲ購買シ及牙保ヲ爲シタル者等處分方左ノ通制定ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第二條

凡富籤賣買ノ牙保若クハ幫助ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

○十二番 渡邊清 本條ノ修正ヲ加フヘキハ午前ニ於テ大略辨シタルカ

如シ抑牙保ト云ヒ幫助ト云ヒ皆正犯者ヲ助ル者ナレハ刑法第九條ノ「正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメタル者ハ從犯ト爲シ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス」ト云ヘル律ニ照シテ處罰スヘキ者ナリ内閣委員ハ曰ク若シ牙保及幫助ヲ爲シタル者ヲ從犯トシテ其刑罰ヲ減等スル